

目 次

I	はじめに	1
II	管理部門	
1	普及啓発・受診勧奨	
1-1	普及啓発事業の目的	2
1-2	がん征圧運動	2
1-3	研修会、健康教育の実施	4
1-4	普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	6
1-5	北海道・市町村との連携	8
1-6	企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	11
1-7	賛助会実績	14
1-8	受診勧奨	14
2	がん相談・患者会	
2-1	がん相談事業実績	15
2-2	小舟会（患者会）実績	16
3	精度管理体制	
3-1	精度管理体制	17
3-2	専門職の研鑽	17
3-3	施設認定	23
4	事後処理の流れ	24
5	事後管理の流れ	25
6	安全管理体制	26
7	検診車の保有状況	27
8	施設整備に対する助成金の受け入れ状況	28
9	委託事業	29
III	検診部門	
1	検診受診者数	36
2	各がん検診の成績	37
3	検診センターの精密検査成績	70
4	発見がんの実測生存率	79
	【参考資料】	
1	がん対策の背景	84
2	市町村が実施するがん検診の受託状況について	89
3	北海道対がん協会	91
3-1	概要	91
3-2	目的及び事業	92
3-3	検診センター及び細胞診センターの機能	93
3-4	機構図	94
3-5	役員等名簿	95
3-6	沿革概要	96
4	個人情報保護方針	97
5	検診センターにおける各種検診日	98
6	がん対策基金のご案内	99
7	がん征圧賛助会へのご入会案内	107

【利用上の注意】

『がん対策の概況2015』は、公益財団法人北海道対がん協会の平成27年度の事業を集録したものです。

なお、参考資料の一部で、年度が異なるものがあります。

Ⅱ 管理部門 … 平成27年度

Ⅲ 検診部門 … 平成27年度

【参考資料】

1 がん対策の背景 … 平成27年
ただし図1は平成26年

2 市町村が実施する～ … 平成26年度

3～7 … 平成28年10月1日現在

また、Ⅲ 検診部門の 2 平成27年度一次検診の成績においては事後管理（要精検者への受診勧奨）を受託していない下記の団体について受診者数から除いています。（P36の 1 平成27年度検診受診者数には含まれます。）

北海道教育庁 … 平成26年度

北海道職員 … 平成27年度

I は じ め に

北海道対がん協会はわが国で最初の対がん協会で、昭和4年（1929）に創設され、爾来80年余り、がん征圧を目指して普及、啓発、予防、早期発見、治療、研究につとめて参りました。日頃より当協会のがん検診、健康診査に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

北海道におけるがんの年齢調整死亡率は、全国平均を大きく上回り、直近3年間では全国ワースト2位となっています。一方で、がん検診の受診率は全国平均を下回っており、早急に包括的ながん対策が求められています。当協会としまして、道民の健康を守るという使命を遂行するために、がん検診の受診率をあげるよう日々努力しています。また、同時に精度の高い検診を実施し、より早期に、よりの確にがんを見つけられるよう努めることが重要な責務と考えています。

このたび、当協会の平成27年度の事業内容及び検診成績を集計、記録、解析した「2015がん対策の概況」を作成いたしました。

事業推進にあたり、ご協力頂きました北海道、道内各自治体、道内3医科大学、医師会、企業、団体の皆様に感謝申し上げます。またこのデータをご高覧いただき、地域住民の皆様の保健予防や健康増進に役立てていただくと共に、御意見いただければ幸甚でございます。

私達北海道対がん協会職員一同は、今後とも全力をあげて、検(健)診の改善、精度向上、受診率の向上、受診者の皆様の福祉の増進につとめ、道民のがん死亡を更に減少させる決意でおります。皆様の一層のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

平成29年1月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 長 瀬 清



Ⅱ 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、広く道民にがんに関する正しい知識を普及し、併せてがん検診事業の推進を図ることを目的として、がん予防道民大会をはじめとした普及啓発事業に力をいれています。

また、最近では企業のCSR活動と連携し、新たな切り口で、がん早期発見のための検診の重要性を訴えています。

1-2 がん征圧運動

当協会本部である公益財団法人日本対がん協会は、日本医師会と共催で、9月を「がん征圧月間」と定め、全国でがん征圧運動を展開しています。

当協会では、上記のがん征圧月間運動に参加するとともに、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、行事を実施しています。

(1) がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内 容	参加者数
9／1(火)～ 3(水)	北海道庁 1階道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	230名
9／13(日)	釧路がん検診センター	日曜検診とがん予防普及パネル展	日曜検診（各種がん検診・特定健診）時にパネル展及び普及啓発ブースを展開	延678名
9／19(土)	イオン旭川西ショッピングセンター	がん予防普及パネル展	がん予防普及パネル展	延239名
9／1(火)～ 30(水)	札幌市各区 区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
9／1(火)～ 30(水)	旭川市 買物公園	がん検診の音声広告	「こちらは旭川がん検診センターです。9月はがん征圧月間です。がん検診はお済みですか？「だいじょうぶ」思い込まないで、がん検診を受けましょう。9月はがん征圧月間です。」	1日10回 1回15秒

9月初旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,600枚
9／22(月)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載	—
9／8(木)	・大通 ・北24条駅前	街頭PR (街頭ティッシュ配り)	札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、街頭啓発を実施	約1,700名
10／9(金)	江別市民会館	第47回がん予防道民大会 ・がん予防功労者表彰 ・特別講演 ・健康講話	・特別講演「がんを知り、がんに負けない2015」 ・健康講話「トーク&ライブ 人と和する音楽」	約920名

■第47回がん予防道民大会

がん予防道民大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「がん征圧・がん検診受診促進月間」の期間中に、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村との共催により毎年開催しています。

第47回となる今大会は、「若年層からのがん予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る」を開催テーマとし、10月9日（金）、江別市民会館で次のとおり開催し、全道から約920名が参加しました。又、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了しました。

10月9日（金） 12：45～15：40 江別市民会館 約920名参加	【第47回がん予防道民大会】 大会の主な行事 ○がん予防功労者の表彰 受賞団体 帯広市・名寄市・深川市・苫前町・安平町 江別市食生活改善協議会 ○特別講演 「がんを知り、がんに負けない2015」 演者 国立病院機構北海道がんセンター 院長 近藤 啓史 氏 ○健康講話 「トーク&ライブ 人と和する音楽」 演者 シンガーソングライター 桜庭 和 氏
---	--



(2) リレーフォーライフジャパン2015 in 室蘭

8月29日（土）～30日（日）、「リレーフォーライフジャパン2015 in 室蘭」にチームTAIGANとして20名参加しました。又、ヘリカルCT検診車を派遣して、チャリティー検診（低線量CT肺がん検診・内臓脂肪測定）を実施しました。



(3) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会に所属し、世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加協力しています。

1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しています。

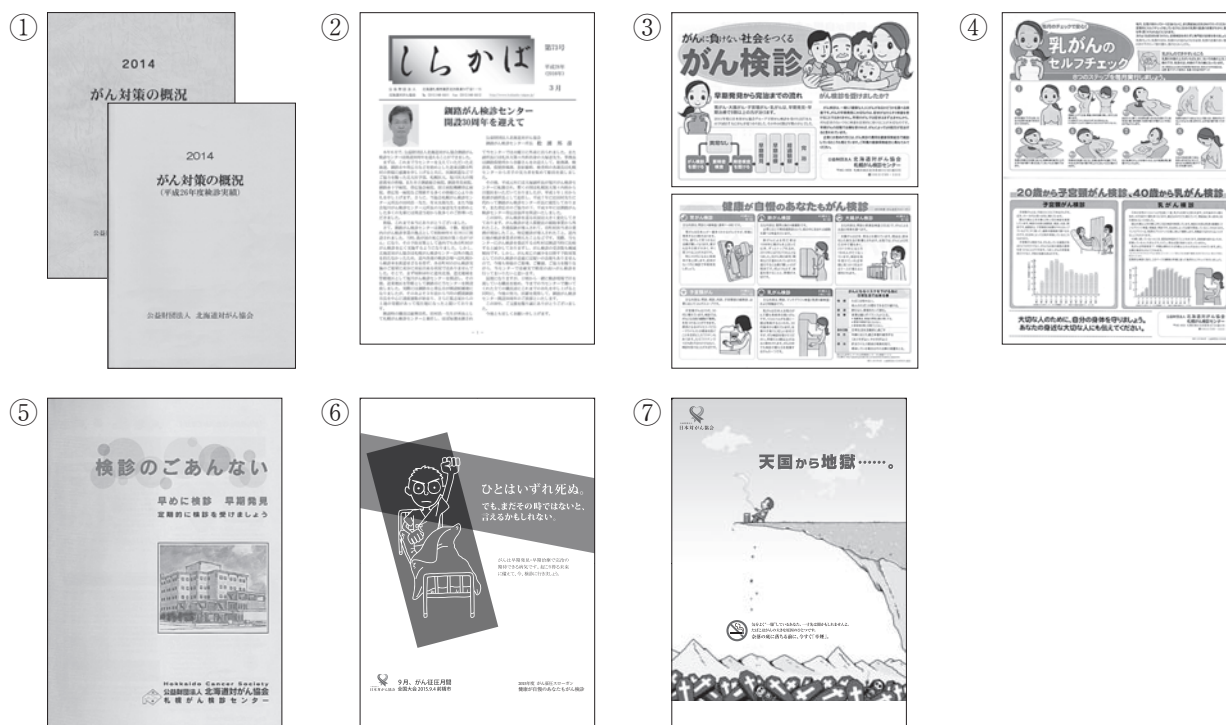
開催日	主 催	研修会名	内 容	従 事 者	参加者数
5/13	札幌市北区健康をまもるつどい	一般向け健康教育	「あなたに役立つがんのお話」	会長 長瀬 清	20名
5/17	住友生命	がんセミナー	「がん予防と検診のススメ」	(旭川) 検診第2課 戸嶋 梓	75名
5/22	旭川放射線技師会	平成27年旭川放射線技師会 春季学術講演会	「マンモグラフィー精度管理講習会からのステップアップ ～各地域に即した指導者の育成を目指して～」	(札幌) 放射線科 黒蔵 邦夫	60名
6/13	釧路胃と腸を診る会・エーザイ(株)	胃がん予防市民フォーラム ～検診とピロリ除菌で胃がんを防ごう～	「釧路圏域の胃がん検診受診の動向と今後の課題」	(釧路) 所長 松浦 邦彦	約50名
9/25	札幌市北区健康をまもるつどい	一般向け健康教育	「あなたに役立つがんのお話」	会長 長瀬 清	20名
9/25	北海道食生活改善推進員協議会	平成27年度食生活改善全道研修大会	「そうだったのか！知って納得。がん検診」	(札幌) 経営企画課 植村 絵美	300名
9/26	札幌放射線技師会	第1回札幌放射線技師会 マンモグラフィ技術講習会	「マンモグラフィの基礎」	(札幌) 放射線科 黒蔵 邦夫	50名
9/26	七飯町	がん予防町民フォーラム	「がん征圧を目指して～胃がん死をなくすために～」	会長 長瀬 清	150名
9/29	札幌市医師会	平成27年札幌市医師会 マンモグラフィ技術講習会	「マンモグラフィの精度管理」	(札幌) 放射線科 黒蔵 邦夫	80名

10／1	北海道市町村共済組合	平成27年度 レディースセミナー	「そうだったのか！知って納得。 がん検診」	(札幌) 経営企画課 植村 絵美	40名
10／10	オホーツクマンモグラフィ研究会	第10回 オホーツクマンモグラフィ研究会	「マンモグラフィの精度管理の 現状－施設画像評価と道内アン ケートの結果から－」	(札幌) 放射線科 黒蔵 邦夫	40名
10／11	ピンクリボン in Sapporo	市民講演会 乳がんの克服は可能か？	パネルディスカッション「乳が んをめぐる課題とその克服にむ けて」(パネリスト参加)	(釧路) 検診課 若松 邦子	約250名
10／23	北海道市町村共済組合	平成27年度 レディースセミナー	「そうだったのか！知って納得。 がん検診」	(札幌) 経営企画課 植村 絵美	40名
10／27	当協会	一般向け健康教育	「あなたに役立つがんのお話」	会長 長瀬 清	20名
11／1	釧路市健康を守る会	北海道健康をまもる地域団体 連合会 道東ブロック研修会	「乳がん子宮がんについて」	(釧路) 検診課 小峰 園子	41名
11／6	中央区PTA連合会	第28回 中央区PTA連合会研修大会	「知っておきたいガン大国日本 ～未来のために今できること～」	(札幌) 経営企画課 熊林 弘美	65名
11／12	札幌市北区健康をまもる つどい	一般向け健康教育	「あなたに役立つがんのお話」	会長 長瀬 清	20名
11／25	旭川市シニア大学	旭川市シニア大学・大学院講 座	「がん検診のススメ」	(旭川) 検診第2課 新関 おりえ	45名
11／28	日本放射線技術学会	日本放射線技術学会乳房撮影 ガイドライン精度管理研修会	「マンモグラフィの基礎と臨床」	(札幌) 放射線科 黒蔵 邦夫	50名
1／29	士別市保健推進員	士別市保健推進員研修会	「乳がんのお話」	(旭川) 検診第2課 合田 亜希	47名
2／11	ハッピースマイルプロ ジェクト	乳がんを知ろう	「乳がんのセルフチェック」	(札幌) 経営企画課 植村 絵美	15名
2／26	日高町保健推進員協議会	日高町保健推進員協議会交流 会	「がんなんか怖くない!!早期発 見を目指して」	会長 長瀬 清	30名
2／26	社会保険診療報酬支払基 金北海道支部	平成27年度保健衛生講話	「そうだったのか！知って納得。 がん検診」	(札幌) 経営企画課 植村 絵美	130名
3／15	道新登坂販売所	脳トレ講座	「がんの最新情報と早期発見の ための検診のススメ」	(札幌) 経営企画課 植村 絵美	15名
3／19	北海道医師会	平成27年度 北海道がん検診従事者講習会	「マンモグラフィの基礎・撮影 技術・被曝リスク」	(札幌) 放射線科 黒蔵 邦夫	50名
3／24	歌志内市	平成27年度 第2回健康づくり推進委員研 修会	「乳がん検診について」	(札幌) 検診第2課 能田 真結	約30名

1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資 料 名	部 数
①	がん対策の概況2014、がん対策の概況2014（平成26年度検診実績）	各800冊
②	機関紙「しらかば」 年3回発行	各2,500部
③	がんには負けない社会をつくる（日本対がん協会作成リーフレット）	3,000枚
④	乳がんのセルフチェック（日本対がん協会作成リーフレット）	3,000枚
⑤	検診のごあんない	3,000部
⑥	がん征圧月間ポスター（日本対がん協会作成ポスター）	4,600枚
⑦	禁煙ポスター	400枚

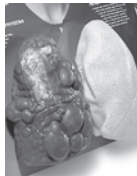


(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型などの各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しております。

平成27年度はピンクリボン活動団体や各市町村に貸出し、イベント時に活用していただきました。

市町村や企業、関係団体で行う健康イベント、研修会等で活用をご希望の際は、お問い合わせください。（担当：経営管理部企画課）

品 名	模 型 説 明	
乳がん触知モデル （精密型）	人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。 サイズ：37×24×17cm	
乳房疾患模型	断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。 サイズ：16.5×11×7.5cm	
肺がん模型	健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。 サイズ：55×43×30cm	 
喫煙タール模型	1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。 サイズ：9×9×13.5cm	
腸疾患模型	結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。 サイズ：18.0×21.0×27cm	

(3) 普及啓発ポケットティッシュの作成・配布

札幌がん検診センターにおいて、受診を呼びかける普及啓発ポケットティッシュを作成し、街頭にて配布しました。また、市町村や地区組織に提供し、啓発活動に役立てていただきました。

配布状況はP12 (2)地区組織との連携【街頭啓発】を参照してください。

健康チェックしてますか？

**がん検診と
特定健診を
受けましょう！**



公益財団法人
北海道対がん協会
札幌がん検診センター

〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1-15
地下鉄東豊線「元町駅」徒歩7分
TEL 011-748-5522

がん検診
約2週間前50%増

**がん検診
愛する家族への
贈りもの**

今年も一緒に
受けようね！



がん検診の
お問い合わせや
お申込は
市町村役場
担当課へ

公益財団法人北海道対がん協会

**増えてます。
北海道の
乳がん。**

撮影技師は全員女性です！

公益財団法人北海道対がん協会
札幌がん検診センター 011-748-5522

〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15
地下鉄東豊線「元町駅」徒歩7分

Hokkaido
Pink Ribbon

がん検診で、早期に見つかった乳がんは約9割が治ります。
手遅れになる前に、定期的に乳がん検診を受けましょう！

1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん対策推進会議の実施

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に、次のとおり開催し、56団体から61名の参加が得られました。

10月23日（金） 13：00～16：30 ホテルポールスター 札幌	【がん対策推進会議】 ○ 報告事項 1 北海道からの報告 ・がん対策に係る厚生労働省の動向について ・「全国がん登録」の実施について ・「北海道がん対策基金」について 2 北海道対がん協会からの報告 ・平成28年度検診の実施計画について ・マンモグラフィ単独検診の実施について ・ピロリ菌検査の実施について ・子宮頸がん検診における細胞診とHPV併用検診の有効性について ○ 講演 「救える癌、胃がん、大腸がんで毎年10万人死亡に対して検診が果たすべき役割と具体的方法は？」 北海道大学大学院医学研究科がん予防内科特任講師 間部 克裕 氏	 
---	---	--

(2) 各がん検診センター所在市町村とのがん検診打合せ会議

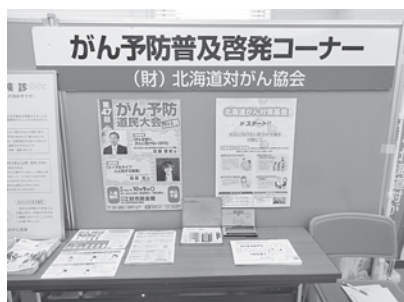
がん検診を円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議しました。

(3) 健康に関するイベントへの出席

自治体が実施する健康に関するイベントへ出席し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	大会名	開催地	参加人数	内容
6／6	旭川市健康まつり	旭川市	187名	骨検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
6／28	いわみざわ健康まつり	岩見沢市	1,200名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／5	手稲区健康フェア	手稲区民センター	41名	胃がん検診20名、大腸がん検診26名、パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／6	元気フェスティバルin きたひろしま2015	北広島市	3,000名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、塗り絵コーナー、がんに関するDVDの放映
9／6	帯広健康まつり	帯広市	1,200名	胃・肺・大腸がん検診、パネル展、パンフ配布

9／6	釧路町健康福祉フェスティバル いきいきふれあいフェスタ 2015	釧路町	609名	骨検診、パンフ配布
9／16	清田区健康&介護予防フェア	清田区役所	180名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
9／17	あつべつ健康・福祉フェスタ (プレフェスタ)	サンピアザ 光の広場	250名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
9／26	あつべつ健康・福祉フェスタ	厚別区民 センター	210名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
9／30	みんなでみに区る健康まつり	南区民 センター	130名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
10／10	けんこうフェスタ2015inちゅう おう	中央区民 センター	120名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
10／12	札幌市 がん検診受診促進キャ ンペーン	イオン札幌 苗穂店	300名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
10／18	くしろ健康祭り2015	釧路市	1,000名	胃・肺・大腸がん検診、ヘリカルCT 検診、パネル展、乳がん触知モデル 体験、パンフ配布
11／3	白石すこやかフェスタ	札幌コンベン ション センター	217名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布、がんに関するDVDの放 映



(4) 成人の日式典における普及啓発（札幌市北区）

平成28年1月11日（月）ニトリ文化ホールにて、新成人に20歳からの検診を呼びかけるため、子宮頸がんに関する手作りの資料「子宮頸がん予防開発プロジェクトHello Smile」50部、「新成人の皆様へ」50部、「Hello smileあなたの相談窓口カード」と「Hello kittyばんそうこう」を100セット配置し、大好評に終わりました。



(5) がん予防学級の開催

昭和46年より、がんに関する正しい知識の普及を目的として、開催地の市町村と共催でがん予防学級を開催しています。

平成27年度は札幌・旭川・帯広で延149名の参加を得ました。

札幌	平成27年11月11日（水） 札幌がん検診センター 4階会議室 30名参加	第1講 「がんを知る－がん征圧を目指して」 北海道対がん協会会長 長瀬 清 第2講 「がんを経験して」 キャンサーサポート北海道 がんの語り手 菊地 ゆう子 氏 第3講 「がん予防に役立つ食事について」 北海道がんセンター栄養管理室長 長澤 真由美 氏 第4講 「健康運動」 北海道対がん協会臨床検査部集検係長 市川 浩巳
旭川 ※	平成27年9月8日（火） サン・アザレア 3階ホール 88名参加	第1講 「がんを知る－がん征圧を目指して」 北海道対がん協会会長 長瀬 清 第2講 「がんになって思うこと」 キャンサーサポート北海道 がんの語り手 内山 浩美 氏
帯広 ※2	平成27年11月27日（金） 帯広市保健福祉センター 3階 視聴覚室 31名参加	第1講 「子宮がんについて」 北海道対がん協会細胞診センター所長 藤田 博正 第2講 「乳がんについて」 帯広協会病院院長 阿部 厚憲 氏 第3講 「健康について」 帯広市健康推進課保健師 中村 裕子 氏 第4講 「内科のがん」 北海道対がん協会釧路がん検診センター所長 松浦 邦彦

※旭川がん予防学級については、このほかに「旭川市がん予防教室」を開催しているため、共催とはしていません。

※2帯広がん予防学級については、市外の方にも参加していただくため、帯広市と共催ではなく後援としています。



(6) 北海道がん対策基金

平成27年2月9日、「がんに負けない社会」の実現を目的として、北海道が中心となり、道内企業の協力のもと、北海道がん対策基金を設立しました。当会は事務局として基金の管理・運営を担うこととなりました。

基金に関する詳細は103ページを参照してください。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

主にピンクリボン活動を通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントを実施しました。また、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図りました。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動推進協定」に基づき、ピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進しています。同自販機は、飲料を購入するごとに売上金の一部が協会へ寄附される枠組みになっており、北海道において乳がんから女性を守るための活動にあてられます。

自販機の数、初年度は21台ほどでしたが、現在は約150台に増え、それに伴って寄附金の額も年々増加しており、平成27年度は1,978,959円もの寄附が集まりました。

平成28年3月2日には、下記のとおり「2015年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄附金贈呈式」を開催しました。

頂戴した尊い寄附金は、がんに関する正しい知識の普及啓発媒体の作成やがん検診事業の推進に役立てられます。今年度は、寄附金の一部が「乳がん触知モデル（実際にがんのしこりを触って体験できる模型）」の購入や、広く一般に乳がん検診の大切さを呼びかける啓発媒体として、ふせんメモの作成にあてられました。このふせんメモは、贈呈式終了後、大通ビッセ地下1階で500個ほど無償配布しました。ふせんメモの内側には「増えてます 北海道の乳がん。」というメッセージとともに、北海道内の乳がん検診受診率が全国平均よりも低く、乳がんによる死亡が全国ワースト5位（2014年度）であることなどが書かれており、受け取った方への啓発につながることを期待しています。

【2015年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄附金贈呈式】

開催日時：平成28年3月2日（水）11：30～12：00

開催場所：大通ビッセ 1階 エントランススペース

（北海道札幌市中央区大通西3丁目）

- 内 容：●北海道対がん協会からピンクリボン支援自動販売機
設置者様へ感謝状の贈呈
●北海道コカ・コーラボトリング株式会社から
北海道対がん協会へ寄附金の贈呈
●終了後、大通ビッセ地下1階スペースで
啓発グッズ（オリジナルふせん）を配布しました



ふせん表紙



ふせん



ピンクリボン活動支援自動販売機
(デザインは一例です)



自販機設置先を代表して
広域紋別病院事務部参事 河谷 篤様より
ご挨拶を賜りました。



(左) 北海道対がん協会 長瀬会長
(右) 北海道コカ・コーラボトリング(株)
佐々木社長



コカ・コーラボトリングのキャラクター
“Qoo”と一緒に街頭啓発を実施しました。



自販機設置先様（11社）と
長瀬会長（中央左）、
佐々木社長（中央右）

○他、ピンクリボン自動販売機設置協力企業（自販機を通してがん征圧のための寄附金を頂いています。）

- ・サントリービバレッジサービス株式会社 様
- ・株式会社アベックス 様

【企業職員向けの健康教育】

- ・ 北海道市町村職員共済組合（2回） …約80名
- ・ 社会保険診療報酬支払基金北海道支部…約130名



(2) 地区組織との連携

【第48回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会と共催で、北海道の後援のもと、平成27年7月3日～4日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した62名の受講者に対し、がんや結核・栄養等に関する講習会を実施しました。



【街頭啓発】

北海道健康をまもる地域団体連合会、札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、各団体のイベント時に当会の普及啓発ティッシュを延2,900個、配布していただきました。

- ・ 5／9 第15回新川さくらフェスティバル音楽祭
- ・ 9／8 2015年がん征圧月間 街頭PR
- ・ 10／9 第47回がん予防道民大会
- ・ 11／4 北区女性部連絡協議会文化講演会
- ・ 3／1 厚生労働省提案女性の健康週間対応ピンクリボン運動

(3) 患者・ボランティア団体との連携

ピンクリボン活動や子宮頸がんに関する普及啓発に取り組んでいる市民団体を支援し、団体の協力のもと、がんに関する正しい知識の啓発を行いました。

【子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクト】

札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道（大学生の子宮頸がん啓発活動グループ）、MSD㈱からなる標記プロジェクトに実行委員として参加。メンバーが、がんに関する正しい知識を学習する際に講師を派遣したほか、啓発媒体作成にあたり指導協力を行いました。

- ・ 5／28 第1回 実行委員会（委員として出席）
- ・ 6／16 第1回 ワークショップ（講師派遣）
- ・ 3／17 第2回 実行委員会（委員として出席）



【ピンクリボン in SAPPORO】

- ・ 2 / 7 ワーキング・サバイバーズ・フォーラム2016～がんと仕事～（ブース出展）
- ・ 田中賢介ピンクリボンプロジェクト『MUSEE & KENSUKE大切な人を守ろう！』

ピンクリボンin SAPPOROにより、北海道日本ハムファイターズの田中賢介選手及びスポンサー企業様と当協会をマッチングしていただき、協働でピンクリボン活動を行っています。今年度は百万円を超える多額のご寄附をいただきました。そのご厚情に感謝の意を示すため、下記のとおり感謝状の贈呈を行いました。

開催日時：平成28年3月5日（土）12：00

開催場所：札幌ドーム
（北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1）

内 容：北海道対がん協会会長 長瀬 清より
田中選手へ感謝状の贈呈



【プロジェクト概要】

田中賢介選手がピンクカラーの野球用具を身に着けていたことから、「ピンク」がご本人のイメージカラーとして定着したことをきっかけに、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動に取り組まれるようになり、このプロジェクトが2008年からスタートしました。

今シーズン（2015）は、プロジェクトの理念や活動内容にご協賛いただいた「株式会社ジンコーポレーションMUSSE GROUP」様をスポンサーとして、田中選手及びスポンサー様から、1アウトをとるごとに2名分の乳がん検診の料金としてご寄附いただく枠組みになっており、通算342アウト、684名分の検診料をいただきました。

田中選手から当協会への寄附は、これまでで約500万円にのぼります。頂戴した尊い寄附金は、検診費用の補助に使われるほか、がんに関する正しい知識の普及啓発媒体の作成やがん検診事業の推進に役立てられます。

1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円）で、口数に制限はありません。会員の皆様から頂く賛助会費は、主にがんの正しい知識の普及用教材としてパンフレット・リーフレット等を作成し、道民の皆様にごがん予防の資料としてお配りするほか、がんの研究にも一部援助させて頂いております。賛助会に関する詳細は107ページを参照してください。

平成27年度の会員数は個人会員381人、法人会員118件でした。

H27	札幌	旭川	釧路	計
個人	281	71	29	381
法人	73	28	17	118

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨はがき等を約34.2万枚作成し、市町村へ提供しました。

(2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

(3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を16日間実施し、延べ2,774人が受診しました。

2 がん相談・患者会

2-1 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまでの30年間で延べ9,446件の電話相談に対応しています。平成27年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 ： 89件

②相談者の住所 ： （単位：件）

札幌市内	74
札幌市外	14
北海道外	0
不明	1

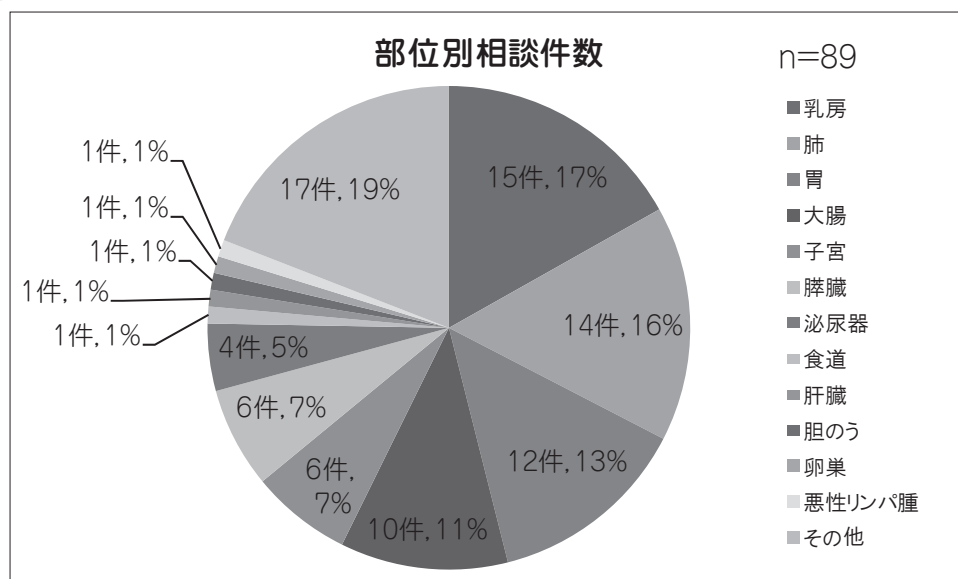
③相談者の属性 ： （単位：件）

本人	65
家族	22
その他	2

④相談者の年齢・性別 ： （単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	0	1	4	3	4	7	3	22
女性	0	2	6	15	11	26	7	67
総計	0	3	10	18	15	33	10	89

⑤ 相談者のがん部位 ：



⑥相談内容（複数の場合は主なものを計上）：（単位：件）

病気・治療内容に関すること	35
専門病院に関すること	11
自覚症状あり不安に関すること	14
医療への不満・不安に関すること	11
その他	14
心理的課題に関すること	2
日常生活に関すること	2

2-2 小舟会（患者会）実績

昭和42年6月に開設した、がん治療経験者や治療中の方を会員とするがん克服者の会の事務局を担い、長年にわたり、がんに関する正しい知識の伝達や、参加者相互の理解を促す働きかけも行っています。

なお、平成27年度は次の活動を行っています。

- ①「がんを語り合う会」 … 8回開催、延34名出席
- ②第48回総会・懇親会の開催 … 平成27年7月24日（金）全日空ホテル 12名出席
- ③役員会の開催 … 平成27年4月15日（水） 8名出席
平成27年6月30日（土） 6名出席
- ④会報の発行 … 平成27年7月 第21号発行
平成27年9月 第22号発行
平成28年2月 第23号発行

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそった精度の高いがん検診を実施するため、がんごとに実施マニュアルを定め、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況（常勤職員）

■医師

資 格 名 称	人 数
日本消化器がん検診学会指導医	3
日本消化器がん検診学会認定医	3
日本消化器内視鏡学会専門医	3
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本消化器病学会専門医	2
日本医師会認定産業医	3
日本医師会認定健康スポーツ医	2
日本ヘリコバクター学会認定医	1
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ読影認定医	3
日本臨床細胞学会細胞診専門医	3
国際臨床細胞学会フェロー	1

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資 格 名 称	人 数
胃がん検診専門技師	31
胃がん検診基準撮影法指導講師	1
胃がん検診基準撮影法指導員	5
マンモグラフィ撮影技術認定技師	29
乳房超音波講習会履修者	15
超音波検査士（消化器）	6
超音波検査士（体表臓器）	3
肺がんCT検診認定技師	7

放射線管理士	2
放射線機器管理士	1
細胞検査士	19
国際細胞検査士	16
健康運動指導士	3
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	4
医療情報技師	3
医用画像情報専門技師	1
消化器内視鏡技師	5

(2) 学会・研修会活動

■学会等所属状況

学会・委員会名	活動内容
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	委員を擁し、精度確立のため活動しています
NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構	理事を擁し、精度確立のため活動しています
北海道臨床細胞学会	事務局及び理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
北海道細胞検査士会	事務局及び役員を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部 放射線研修委員会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会北海道支部	副支部長及び理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。

■学会発表（平成27年度）

日 時	会 名	演 題	報 告 者		開催地
			所 属	氏 名	
6 / 5 ～ 6	第54回日本消化器がん検診学会総会 放射線フォーラム	（シンポジウム） 背景粘膜を考慮した胃X線検査 法と読影の補助	札幌 放射線技術部	南川 浩二	大阪市
6 / 12 ～ 14	第56回日本臨床細胞学会総会 （春期大会）	子宮体部漿液性腺癌の初期病変 を見つけるための細胞診の役割	札幌 細胞診センター	藤田 博正	松江市
		ヒトパピローマウィルス16型E6 バリエーションと子宮頸がんとの関 連		佐々木 隆之	
7 / 11	第45回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	胃X線検査における安全対策の 現状（第1報）	札幌 放射線技術部	鈴木 康雄	札幌市

9 / 12	平成27年度日本医用画像管理学会	検診施設における画像ネットワークの現状	札幌 放射線技術部	黒蔵 邦夫	札幌市
10 / 21	第67回北海道公衆衛生学会	対策型胃がん検診の現状と課題 ー北海道対がん協会の13年間の 胃がん検診成績からー	札幌 放射線技術部	黒蔵 邦夫	旭川市
10 / 24	第8回肺がんCT検診認定技師更新 講習会	(講義) 肺がんCT検診認定技師による1 次読影を最終目標とした読影ト レーニング	札幌 放射線技術部	中川 栄志	東京都
10 / 30 ～31	第25回日本乳癌検診学会学術総会	乳がん検診の精密検査受診率向 上の工夫	札幌 検診第2課	遠藤 留美子	つくば市
11 / 21 ～22	第54回日本臨床細胞学会秋期大会	子宮頸がん検診におけるHPV- DNA検査併用の有効性	札幌 細胞診センター	藤田 博正	名古屋市
		コバス4800HPVテストを用いた 子宮頸がん併用検診の有用性 についての検討		市川 浩巳	
3 / 19	第41回放射線研修委員会研修会	対策型検診での既感染(E群)X 線画像所見の初歩的検討	旭川 放射線科	細川 肇	札幌市

■研修会参加（平成27年度）

日 時	研 修 会 名	主 催	参 加 者		開催地
			所 属	氏 名	
4 / 9 ～12	日本産婦人科学会第67回学術講演会	日本産婦人科学会	札幌 細胞診センター	藤田 博正	横浜市
4 / 11	第13回日本消化器がん検診学会北海道支部 超音波研修会	日本消化器がん検診学会北海道 支部	旭川 検査科	小西 加奈子	札幌市
				永森 祐衣	
			釧路 放射線科	鶴野 雅浩	
			釧路 検査科	三浦 務	
5 / 9 ～10	NPO精菅講第23回胃X線精度管理研修会学 術委員会	NPO日本消化器がん検診精度管 理評価機構	旭川 放射線科	北本 哲也	仙台市
5 / 22 ～24	日本超音波医学会第88回学術集会	日本超音波医学会	札幌 臨床検査部	横山 恵	東京都
				茂木 由紀	
6 / 4 ～7	第54回日本消化器がん検診学会総会	日本消化器がん検診学会	釧路 検査科	倉兼 俊之	大阪市
			旭川 放射線科	北本 哲也	
			旭川 放射線科	松浦 邦彦	

6／12 ～15	第56回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	日本臨床細胞学会	札幌 細胞診センター	藤田 博正 佐々木 隆之	松江市
			札幌 臨床検査部	田上 稔	
			旭川 婦人科部長	笠茂 光範	
			旭川 検査科	小西 加奈子	
7／6 ～18	平成27年度細胞検査士養成講習会	日本臨床細胞学会	旭川 検査科	平野 真理 永森 祐衣	東京都
7／11	マンモグラフィ技術更新講習会	NPO法人 マンモグラフィ精度 管理中央委員会	旭川 放射線科	細川 肇 西田 大	札幌市
			釧路 放射線科	仲野 悦徳	
	第45回日本消化器がん検診学会北海道地方 会	日本消化器がん検診学会北海道 支部	釧路 所長	松浦 邦彦	札幌市
	第45回日本消化器がん検診学会北海道地方 会技師部会		札幌 放射線技術部	全 員	
			旭川 放射線科	北本 哲也	
			釧路 放射線科	鶴野 雅浩	
	第45回日本消化器がん検診学会北海道地方 会 第1回地域保健研修会		札幌 検診第2課	今野 信代 遠藤 留美子 周東 百合子 張山 朋恵 能田 真結	
8／29 ～30	第69回細胞検査師教育セミナー	日本臨床細胞学会	札幌 臨床検査部	日野 順子 鈴木 美由紀	東京都
			旭川 検査科	佐藤 利男 石川 文秋	
				釧路 検査科	
			9／5 ～6	第70回細胞検査師教育セミナー	
9／26 ～27	放射線技師会マンモグラフィ講習会	放射線技師会	旭川 放射線科	畠山 佳那子 竹村 真美	札幌市
10／7 ～10	第53回日本消化器がん検診学会大会	日本消化器がん検診学会	釧路 所長	松浦 邦彦	東京都
			釧路 放射線科	横堀 峰義	

10/30 ～31	第25回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	旭川 所長	菅野 普子	つくば市
			旭川 放射線科	山本 智美	
10/31 ～11/ 1	第36回北海道臨床細胞学会総会ならびに学術集会	北海道臨床細胞学会	札幌 細胞診センター	藤田 博正	旭川市
			札幌 臨床検査部	田上 稔	
				加藤 修	
				日野 順子	
			旭川 検査科	石川 文秋	
				佐藤 利男	
				中山 仁	
				小西 加奈子	
			釧路 検査科	倉兼 俊之	
11/14	第16回学術研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修委員会	札幌 放射線技術部	全 員	札幌市
			旭川 放射線科	田中 伸一	
				細川 肇	
				西田 大	
				島山 佳那子	
			釧路 所長	松浦 邦彦	
11/14 ～15	細胞検査士2次試験対策講習会	日本臨床細胞学会北海道支部	旭川 検査科	平野 真理	札幌市
				永森 祐衣	
11/20 ～23	第54回日本臨床細胞学会秋季大会	日本臨床細胞学会	旭川 検査科	中山 仁	名古屋市
			釧路 検査科	倉兼 俊之	
				三浦 務	
11/20	日本消化器がん検診学会北海道支部 第2回地域保健研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部	札幌 検診第2課	今野 信代	札幌市
				遠藤 留美子	
				縣 有	
				周東 百合子	
				吉川 泰代	
				張山 朋恵	
				能田 真結	
			釧路 検診課	松村 麻衣	

11/21 ～22	第54回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	札幌 細胞診センター	藤田 博正	名古屋市
			札幌 臨床検査部	高橋 奈穂美	
				阿部 里絵	
				市川 浩巳	
2/12 ～13	第23回日本CT検診学会学術集会	日本CT検診学会	札幌 放射線技術部	中川 栄志	千葉市
2/27 ～28	第15回肺がんCT検診認定技師講習会	肺がんCT検診認定機構	札幌 放射線技術部	松井 麻未	東京都
3/3 ～4	第39回保健師・看護師研修会	公益財団法人日本対がん協会	札幌 検診第2課	縣 有	東京都
3/6	第28回細胞診従事者講習会	北海道臨床細胞学会	札幌 臨床検査部	田上 稔	札幌市
				加藤 修	
				阿部 里絵	
				市川 浩巳	
				横山 恵	
				茂木 由紀	
			旭川 検査科	中山 仁	
				石川 文秋	
				小西 加奈子	
				平野 真理	
				永森 祐衣	
			釧路 検査科	和泉 東子	
3/11 ～14	第71回細胞検査士ワークショップ	日本臨床細胞学会	札幌 臨床検査部	加藤 修	福岡市
3/15	日本消化器がん検診学会 理事会	日本消化器がん検診学会	釧路 所長	松浦 邦彦	東京都
3/19	平成27年度全国がん検診指導者講習会	国立がん研究センター	札幌 検診第2課	周東 百合子	東京都
			札幌 経営企画課	植村 絵美	
3/19	第41回放射線研修委員会研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修委員会	札幌 放射線技術部	全 員	札幌市
			旭川 放射線科	田中 伸一	
				細川 肇	
				長谷川 達也	
				畠山 佳那子	

3/20	第11回北海道がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修委員会	札幌 放射線技術部	全 員	札幌市
			旭川 放射線科	田中 伸一	
				西田 大	
				山本 智美	
				畠山 佳那子	
				北本 哲也	
			釧路 放射線科	横堀 峰義	

※札幌市で開催された学会への札幌センターからの参加については、基本的に全員出席しているため、記載を省略している。

3-3 施設認定

- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ撮影施設認定

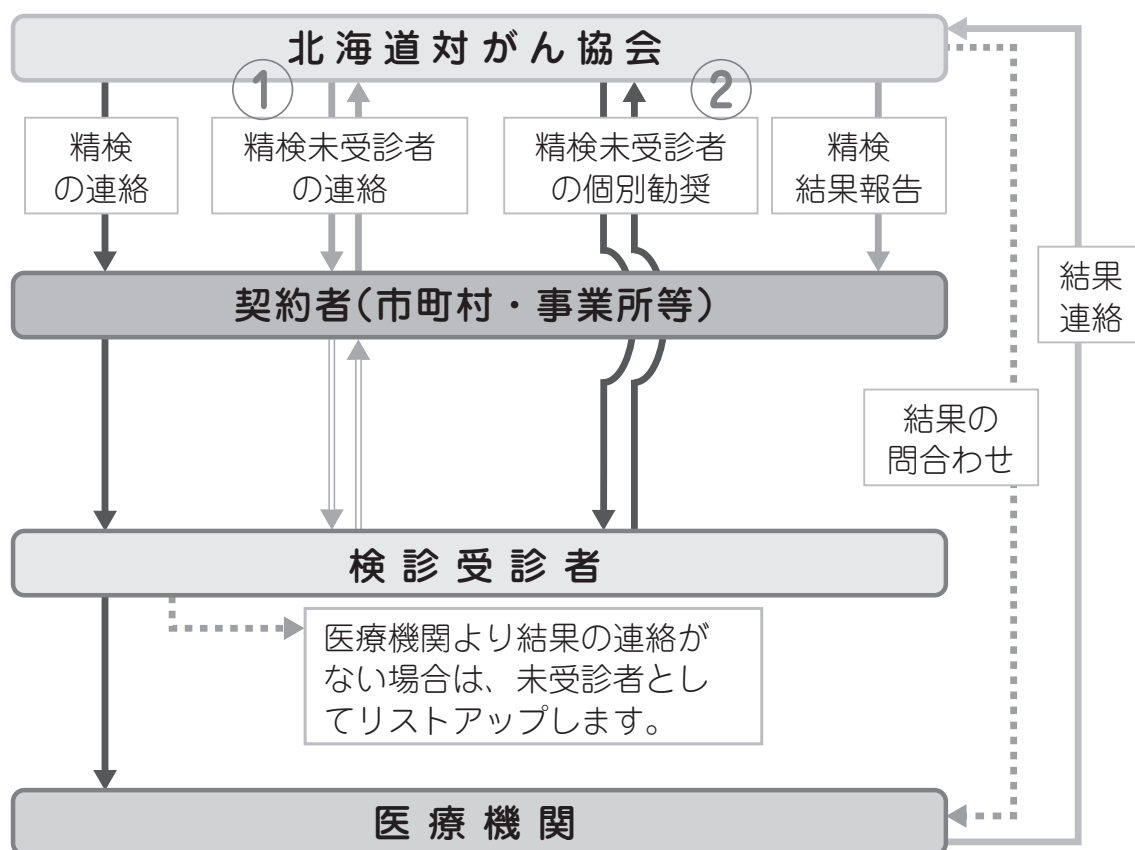
4 事後処理の流れ

厚生労働省「有効性評価に基づくがん検診ガイドライン」に準拠し、事後処理を行っています。

胃がん検診	日本消化器がん検診学会認定医による二重読影を行います。 また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に比較読影を行います。
子宮頸がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医が判定を行います。 当協会では、細胞診結果の分類はBethesda systemによる分類を用います。過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考にします。
子宮体がん検査	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医によりパパニコロウ染色を行い、顕微鏡下で観察します。 細胞診結果は、「陰性」「疑陽性」及び「陽性」に区分します。
乳がん検診	「検診マンモグラフィ読影認定医」A評価の医師を加え、二重読影を行います。 また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に読影を行います。
肺がん検診	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター、KKR札幌医療センター、JCHO北海道病院、JR札幌病院と連携し、日本がん検診・診断学会がん検診認定医による二重読影を行います。 また、判定結果により比較読影を行います。 さらに、過去に当協会で受診されている方はその結果を参考にします。
喀痰細胞診	判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士が実施し、異常が疑われる場合には標本を追加作成して、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医による再鏡検を実施します。 同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングします。 喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行います。
大腸がん検診	便潜血検査は、免疫便潜血検査2日法により行います。
基本健康診査	健診当日の診察結果・血液データ・心電図・眼底結果を基に医師が総合的に判定し、「標準的な健診・保健指導プログラム（改訂版）」に基づき、保健指導対象者の選定と階層化を行います。

5 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

6 安全管理体制

医療安全管理マニュアルを定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

8 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助 成 機 関	助成対象				年 度 計
		検 診 車	センター建設	センター設備	基 本 財 産	
34	昭和33年度継承資金 北海道補助 札幌市補助 旭川市補助 郵政省配分金 郵政省ガン切手益金 日本自転車振興会 中央競馬社会福祉財団 日本ガン協会 日本小型自動車振興会 日本船舶振興会 釧路市補助 市町村補助 一般寄付	253,550,000 7,792,000 37,500,000 92,850,000 17,000,000 3,000,000 65,000,000 38,750,000 3,980,000	769,900,000 10,000,000 45,000,000 91,070,000 116,020,000 20,617,041 54,240,952	98,500,000 18,500,000 10,080,000 25,500,000 15,000,000 25,500,000 4,600,000 95,000,000 22,569,884 81,706,454	128,699 300,000 100,000	2,023,755,030
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		4,750,000
2	日本宝くじ協会 日本自転車振興会	55,620,000 21,630,000				77,250,000
3	北海道補助 札幌市補助 中央競馬社会福祉財団	33,849,000 27,246,000		6,400,000		67,495,000
4	北海道補助 旭川市補助 秋山愛生館	33,849,000 15,000,000	40,000,000 4,700,000			93,549,000
5	北海道補助 日本自転車振興会 中央競馬社会福祉財団	54,000,000		5,072,000 7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助 日本自転車振興会 中央競馬社会福祉財団	54,000,000		12,823,000 7,400,000		74,223,000
8	北海道補助 一般寄付	54,000,000	97,190,000 18,128,723			169,318,723
9	北海道補助 札幌市補助 日本自転車振興会 一般寄付	33,811,000 11,550,000	602,000,000 287,744,000 40,665,515	147,290,000 73,645,000		1,196,705,515
11	北海道補助 日本自転車振興会 中央競馬社会福祉財団	81,100,000		13,335,000 4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助 日本宝くじ協会	60,900,000		5,696,000		66,596,000
20	厚生労働省 日本宝くじ協会	63,000,000		95,550,000		158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	J K A	11,550,000				11,550,000
26	J K A	22,050,000				22,050,000
累 計		1,443,907,000	2,197,276,231	782,917,338	528,699	4,424,629,268

9 委 託 事 業

年 度	業 務 名（契約相手先）	契 約 額	業 務 内 容
平成25年度 ～ 平成29年度	北海道におけるHPV併用検診に関する臨床試験 （ロシュ・ダイアグノステイクス株式会社）	800万円	子宮がん検診受診者を対象に、コバス4800HPVテストでHPV DNA検査を併用実施し、子宮頸部病変の検出におけるHR-HPVの検出または遺伝子型16型／18型判別の有用性を検討
平成25年度～	乳がん検診データ収集業務 （国立大学法人東北大学）	400円 （1件あたり）	乳がん検診検査結果、精密検査、治療情報等のデータ収集
平成26年度 ～ 平成27年度	がん診療機能評価事業 （地域医療再生基金事業） （北海道）	H27 6,246,890円	ア がん診断件数等のデータを把握、分析し、5大がん（肺・胃・大腸・乳・子宮）等について、がん診療連携拠点病院ごとのがん診療機能を評価するとともに、「がん診療機能評価マニュアル」を作成する。 イ 市町村のがん検診に関する事業評価を行うとともに、「がん検診精度管理マニュアル」を作成する。

がん診療機能評価事業の実施について (地域医療再生基金事業)

この事業は、平成26年度から平成27年度の2カ年事業として、北海道から北海道対がん協会が受託し、実施しました。

○事業の概要

(1)平成26年度事業について

(目的)

- ・がん診療連携拠点病院（当時、道内21病院）の水準の均てん化及び診療の向上に資することを目的に、診療実績のデータ（院内がん登録）を整理し、現状と課題を把握する。

(実施状況)

- ・がん診療連携拠点病院の院内がん登録に関するデータを集計・整理し、拠点病院ごとの診療実績を把握し、その実態を整理するとともに、拠点病院ごとの診療に関する特色や傾向、また病院所在地の地域性などを把握することにより、道内拠点病院それぞれの果たす役割を評価する資料として取りまとめました。

(2)平成27年度事業について

(目的)

- ・市町村が実施するがん検診推進事業について、国の指針に基づき正しく実施され、適切に治療に結びついているかを把握・分析し、改善に結びつけるための事業評価の手法について検討し、事業評価マニュアルとして取りまとめる。

(実施状況)

- ・平成25年度地域保健・健康増進事業報告及びチェックリスト調査を分析し、市町村が実施するがん検診の状況を把握しました。
- ・医師・市町村保健師・検診機関保健師・各がんの治療経験者からなる「市町村がん検診事業評価検討委員会」を検診5がん（胃・肺・大腸・子宮・乳）ごとに設置して、各3回開催した委員会において上記データ分析の内容について検討し、今後の課題について整理しました。（別添「市町村がん検診事業評価検討委員会における検討概要」のとおり。）
- ・上記の検討をもとに、市町村のがん検診の事業評価の一助となるマニュアルを作成しました。

事業報告の詳細は北海道のホームページをご参照ください。
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課　がん対策グループ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/kinouhyouka.htm>

(市町村がん検診検討委員会実施内容)

	日 程	項 目
第1回	肺・胃 … 9 / 11 (金) 乳 … 9 / 24 (木) 大・子 … 9 / 30 (水)	・ 自己紹介、座長選任 ・ 事業概要について ・ 委員会の目的について ・ がんに関する関係法規と厚労省施策について ・ がん検診の精度管理について ・ プロセス指標、チェックリストについて ・ 本委員会で使用する統計について ・ 北海道における「検診の対象者」と「受診率」について (チェックリストQ1-1からQ2-3まで) ・ 上記にかかる市町村の実施状況について 【検討・まとめ】
第2回	乳 … 12 / 14 (月) 大 … 12 / 16 (水) 肺・胃 … 12 / 17 (木) 子 … 12 / 22 (火)	・ 第1回委員会のまとめについて ・ 北海道における「要精検率」、「精検受診率」、「精検未受診率」、「精検未把握率」、「がん発見率」、「早期がん割合」、「陽性反応的中度」について (チェックリストQ3-1からQ10-1-1【最後】まで) ・ 当協会における検診事後管理について ・ 市町村における検診事後管理について 【検討・まとめ】
第3回	3 / 16 (水)	・ 受診者及び治療経験者の立場から、ライフステージに応じた効果的な受診勧奨を考える (各委員会の治療経験者と事務局によるディスカッション) 【検討・まとめ】

市町村がん検診事業評価検討委員会設置規程

(名 称)

第 1 条 本会は、市町村（胃、肺、大腸、子宮、乳）がん検診事業評価検討委員会と称する。

(目 的)

第 2 条 本会は、市町村におけるがん検診の現状と課題を把握し、検診の質を向上させるための事業評価手法を明らかにすることを目的とする。

(業 務)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため次の業務を行う。

- (1) 地域保健・健康増進事業報告及び市町村がん検診チェックリスト調査の整理・分析
- (2) がん検診の事業評価手法の検討

(委 員)

第 4 条 本会の委員（部位ごとの検討委員会委員）は、別表 1 のとおりとする。

(任 期)

第 5 条 本会の委員の任期は平成27年 7 月 6 日から平成28年 3 月31日までとする。

(役 員)

第 6 条 本会は、部位ごと（胃、肺、大腸、子宮、乳）の検討委員会に座長をおき、座長は各検討委員会に所属する医師の委員が務める。

(役員の職務)

第 7 条 座長は、各検討委員会を代表し会務を総理する。

(会 議)

第 8 条 会議は、必要に応じ座長が招集する。

第 9 条 座長は、会議の進行役を務める。

第 10 条 座長は、諸般の事情により会議の招集が困難な場合、書面による会議を開催することができる。

(報償及び交通費)

第 11 条 会議に出席した委員には、報償及び旅費（会議開催場所までの公共交通機関による実費）を支払うこととし、報償額については別表 2 のとおりとする。

(事務局)

第 12 条 本会の事務を処理するため、事務局を公益財団法人北海道対がん協会経営管理部におく。

附則

この規程は平成27年 7 月 6 日から施行する。

市町村がん検診事業評価検討委員会委員名簿

氏 名	所 属	備 考
○胃がん検診検討委員会		
てばやし あきお 手林 明雄 (医 師)	北海道対がん協会センター長	座長
はりやま ともえ 張山 朋恵 (保健師)	〃 札幌がん検診センター検診第2課主任保健師	
おじもと きあけ 藤本 企白 (保健師)	日高町健康福祉課健康づくりグループ主査	
かしわぎ 柏木 雅人 (民 間)	治療経験者 (平成28年2月23日胃がん再発のため逝去)	
○肺がん検診検討委員会		
いそべ ひろし 磯部 宏 (医 師)	KKR札幌医療センター副院長	座長
さとう えりこ 佐藤 絵里子 (保健師)	北海道対がん協会札幌がん検診センター検診第2課主任保健師	
いしやま ゆいこ 石山 由依子 (保健師)	美唄市保健福祉部健康推進課健康推進グループ主任保健師	
うちやま ひろみ 内山 浩美 (民 間)	治療経験者	
○大腸がん検診検討委員会		
ひらやま みちあき 平山 眞章 (医 師)	KKR札幌医療センター斗南病院副診療部長	座長
のうた まゆ 能田 真結 (保健師)	北海道対がん協会札幌がん検診センター検診第2課保健師	
えがわ まきこ 江川 真紀子 (保健師)	江別市健康福祉部保健センター主査	
たけだ みほ 武田 倖朋 (民 間)	治療経験者	
○子宮がん検診検討委員会		
すどう さとこ 首藤 聡子 (医 師)	北海道がんセンター	座長
あがた ゆう 縣 有 (保健師)	北海道対がん協会札幌がん検診センター検診第2課保健推進係長	
いしかわ たまみ 石川 珠美 (保健師)	札幌市保健福祉局保健所健康企画課地域保健担当係長	
こんどう 近藤 かおり (民 間)	治療経験者	
○乳がん検診検討委員会		
すがの ひろこ 菅野 普子 (医 師)	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長	座長
しゅうとう ゆりこ 周東 百合子 (保健師)	〃 札幌がん検診センター検診第2課女性検診係長	
あらまち 荒町 あゆみ (保健師)	滝川市保健福祉部健康づくり課健康増進係保健師	
かとう まき 加藤 真紀 (民 間)	治療経験者	
○事務局		
川原 久	北海道対がん協会経営管理部次長	
熊林 弘美	〃 経営企画課課長補佐	
植村 絵美	〃 経営企画課広報係長	
瀧澤 莉代	〃 経営企画課広報係	
黒蔵 邦夫	〃 札幌がん検診センター放射線技術部放射線科長	

市町村がん検診事業評価検討委員会における検討概要

平成25年度地域保健・健康増進事業報告と平成25年度チェックリスト調査のデータを用いて、国立がん研究センターがん対策情報センターがん検診受診率向上事業「全国がん検診指導者講習会」で示された手法を用い、道内179市町村について検討を行いました。

1. 各委員会から出された課題

- ①市町村が実施するがん検診の対象者が、厚生労働省が示す指針を逸脱しているところが多い。
- ②がん検診の対象者と受診率の分母の混同、混乱が推測される。
- ③地域保健・健康増進事業報告やチェックリストの内容を市町村担当者が正しく理解していない可能性がある。
- ④地域保健・健康増進事業報告やチェックリストの内容を、医療機関（個別検診機関）の多くが把握していない可能性がある。また、把握をしていてもデータの提出を拒む機関がある。

【①と④の具体的な課題】

（検診・医療機関について）

- ・プロセス指標で極端なはずれ値を示す検診機関には指導が必要だが、市町村からの指導は限界がある。
- ・個別検診を受託している個々の医療機関は、チェックリストがあることを知らないところも多い。
- ・少なくとも年に一度はチェックリストの内容を見直す必要がある。
- ・地方に行けばいくほど医師不足で手が回らない現状もあるが、受診結果のフィードバックこそが検診の要であることを理解していただきたい。

（市町村について）

- ・市町村の検診の委託先が網羅的に把握されていない。
- ・地域保健・健康増進事業報告やチェックリスト調査で提出されたデータに不備が見受けられる。
- ・上記報告や調査への回答者の多くが“新任期の保健師”である。（新任期でもよいが、中堅以上のチェック・指導が必要）
- ・市町村では、プロセス指標を細かく算出して分析する時間を確保することが困難である。
- ・受診率の算定は、市町村の恣意的な操作を受けないようにすべきなので、分母は市町村以外のところで一律に算出すべき。第3者により、横並びに市町村の評価が必要ではないか。なお、算定にあたっては厚労省の報告書（H20.3）の計算式が妥当と考える。
- ・がん発見率や陽性反応適中度は、ある程度母数が大きくなると正確性に欠くので、（集団）検診機関や都道府県単位で算出すべきである。
- ・プロセス指標の背景には、医療機関の偏在、北海道独特の広域性による問題が（地理的・医療圏的課題）があることも理解する必要がある。
- ・がん検診にかかわる、具体的な内容を相談できる窓口がない。

(分析結果の公表について)

- ・他の都府県で行っているような、地域保健・健康増進事業報告やチェックリスト調査を媒体として、市町村ごとに検診事業を客観的に評価し、評価結果を公表することが必要である。

(検診に関する情報について)

- ・(受診者及び治療経験者の立場からの意見) がん検診に関する情報が非常に入手しにくいので、市町村・検診機関とも改善が必要である。“がん検診はこんな検査で、短時間で終わりますよ”とか、“料金はいくらで、どこで受けられるのか”、“精密検査は何をするのか”というような内容を、何度も繰り返し広報する必要がある。

以上の課題について、北海道に生活習慣病検診等管理指導協議会の役割をもつ委員会を設置し、検討を行っていただき、必要があれば指導や結果の公表などを行っていただきたいという結論に至りました。

また、今回のがん診療機能評価事業の結果について、道のホームページに掲載するだけでなく、通知等で関係機関に周知していただきたいとの意見がありました。

【課題②及び③について】

『自治体におけるがん検診事業担当者のための精度管理の手引き』(P12~35)に、精度管理を行う上で最低限必要な知識と、誤解しやすい点についてまとめました。

2. まとめ

がん検診の精度管理を行うためには、技術・体制的指標とプロセス指標のチェックが欠かせません。

技術・体制的指標とは、がん検診が正しく行われているかを判断するための指標です。検診機関の設備や従事者の資格認定、正しい実施手順がとられているか等、検診の実施技術・体制を評価します。市町村が各検診機関と契約を交わす際に「仕様書に明記すべき最低限度の精度管理項目」を用いて、確認する必要があります。

プロセス指標とは、がん検診事業を「受診者の募集」「検診」「精密検査」「治療」という各プロセスに分けて評価するための指標を指します。検診が効果(死亡率減少)につながるよう適切に行われているか、達成度をみるものです。市町村が各検診機関から個々の受診者の情報を集める体制を確立するとともに、集まったデータを性・年齢階級別／受診歴別／検診機関別／検査方法別に分けて分析し、重点的に介入すべき対象を特定する必要があります。

特に、プロセス指標の中でも「精検受診率」は、繰り返しの勧奨によって改善する項目です。要精密検査となった方はがんの疑いがあるので、全員が速やかに受診すべきです。勧奨は市町村からだけでなく、検診機関からの協力も不可欠で、精検未受診者を一覧にして市町村に示したり、直接未受診の理由を問う手紙を送ったり、すでに他医療機関を受診している情報を得た場合は当該医療機関へ結果を照会したりして、勧奨および受診結果の情報収集に努める必要があります。

市町村が検診機関とがん検診の契約を行う際は、検診の価格や技術・体制的指標だけではなく、検診機関が要精検者に繰り返し受診勧奨を行ったり、精検医療機関から受診結果を収集できるような体制を築いているか(精検医療機関が検診機関と異なる場合)、という点も重視していただくことが重要です。

Ⅲ 検診部門

1 平成27年度 検診受診者数

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん		検 診 車	95,551	55,987	26,732	12,832
		検診センター	29,452	17,086	8,453	3,913
		計	125,003	73,073	35,185	16,745
子 宮 が ん		検 診 車	21,970	10,780	8,062	3,128
		検診センター	44,507	24,984	14,613	4,910
		計	66,477	35,764	22,675	8,038
乳 が ん		検 診 車	22,183	10,735	8,187	3,261
		検診センター	49,322	28,495	15,423	5,404
		計	71,505	39,230	23,610	8,665
肺 が ん		検 診 車	82,193	41,643	26,038	14,512
		検診センター	28,074	14,999	9,071	4,004
		計	110,267	56,642	35,109	18,516
大 腸 が ん		検 診 車	103,263	61,860	28,407	12,996
		検診センター	45,673	28,020	11,273	6,380
		計	148,936	89,880	39,680	19,376
前 立 腺 が ん		検 診 車	11,095	4,744	3,621	2,730
		検診センター	5,113	2,930	1,392	791
		計	16,208	7,674	5,013	3,521
特定健康診査		検 診 車	43,940	19,824	15,532	8,584
		検診センター	13,114	8,721	3,015	1,378
		計	57,054	28,545	18,547	9,962
定期健康診断		検 診 車	18,642	15,161	2,139	1,342
		検診センター	7,172	4,330	850	1,992
		計	25,814	19,491	2,989	3,334
協 会 け ん ぽ (生活習慣病 予防健診)		検 診 車	520	94	268	158
		検診センター	6,251	4,291	855	1,105
		計	6,771	4,385	1,123	1,263
人 間 ド ッ ク		検 診 車	98	-	98	-
		検診センター	1,772	1,398	189	185
		計	1,870	1,398	287	185
骨 検 診		検 診 車	910	746	90	74
		検診センター	11,182	7,763	2,803	616
		計	12,092	8,509	2,893	690
超音波検査	婦 人 科	検 診 車	17,868	7,607	7,754	2,507
		検診センター	40,246	21,359	14,346	4,541
		計	58,114	28,966	22,100	7,048
	腹 部	検 診 車	329	-	329	-
		検診センター	3,156	3,156	-	-
		計	3,485	3,156	329	-
合 計		検 診 車	418,562	229,181	127,257	62,124
		検診センター	285,034	167,532	82,283	35,219
		計	703,596	396,713	209,540	97,343

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 平成27年度 一次検診の成績

胃がん検診

平成27年度は、18台の検診車で127市町村¹⁾を延1,886日間²⁾巡回したほか、81事業所³⁾に延243日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、151名（平成28年9月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌67・旭川42・釧路18市町村 2) 札幌741・旭川677・釧路468日間 3) 札幌32・旭川39・釧路10事業所 4) 札幌119・旭川87・釧路37日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	105,620	59,664	30,936	15,020	27,941	16,664	7,664	3,613	77,679	43,000	23,272	11,407
事業所 ⁶⁾	11,009	5,070	4,236	1,703	1,405	348	776	281	9,604	4,722	3,460	1,422
個人 ⁷⁾	110	75	13	22	106	74	13	19	4	1	0	3
合計	116,739	64,809	35,185	16,745	29,452	17,086	8,453	3,913	87,287	47,723	26,732	12,832

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数116,739名のうち、検診センターでの施設検診は29,452名（25.2%）、検診車による巡回検診は87,287名（74.8%）であった。前年度に比べ、2,924名の増加が見られた（検診センターでは899名、検診車は2,025名の増加、増加率2.6%）。

受診者別では、前年度よりも自治体で1,889名、事業所で1,050名の増加が見られた。

年齢別では、男女ともに60歳代以上から増加し、全体でおよそ70%を占めている。また、前年度に比べ、40歳代・50歳代の男性で1,301名の増加が見られた。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は5,450名で、要精検率は4.7%であった。前年度の6.1%から1.4ポイントの低下が見られた。精検受診数は4,810名、精検受診率は88.3%で、例年とほぼ同様である。

男女別の要精検率は男性6.3%、女性3.5%で男性が高い。精検受診率は男性85.1%、女性92.4%と前年度とほぼ同率である。しかし年齢別では、男性の30歳代、50歳代、女性30歳代など、若い年齢層での精検受診率の低下が見られた。

【発見がんについて】

平成27年度の胃がん発見数は151名で、がん発見率は0.13%であった。男女別では、男性102名（0.21%）、女性49名（0.07%）であった。男女ともに、年齢が上がるにつれてがん発見率も高い傾向にある。

受診歴別では、初回受診が最も高く（0.24%）、次いで3年前受診（0.14%）、2年前受診（0.11%）、1年前受診（0.08%）の順に高い。

追跡調査による発見がんの内訳では、平成26年度の発見がん193名のうち、手術施行者は182名であった。手術結果の内訳は早期がん132名（72.5%）、進行がん48名（26.4%）であり、早期がんが全体のおよそ70%を占めている。

【まとめ】

平成27年度の受診状況として、新たに検診を受託した市町村や事業所が増えたため、全体の受診数の増加、特に40～50歳代の増加が目立った。この年代は働き盛りで仕事や家庭での役割が大きいことや、胃がんが増え始める年齢層である。そのため、市町村の検診のみならず、職場検診の開設などにより、積極的に検診の機会を提供し多くの方に受診していただくことは、胃がんの早期発見につなげていくうえで、非常に重要であると考えます。

要精検者に対しては、特に精検受診率の低い50歳代以下を中心に受診勧奨に力を入れ、精検受診の必要性を理解したうえで受診行動につなげていく必要がある。

また、厚生労働省の指針の改正（H28.2.4）で、胃がん検診の検査方法に内視鏡検査が追加されるとともに、対象年齢が引き上げられ、受診間隔が延長されたが、“当面の間、X線検査に関しては、40歳以上、年1回実施しても差支えない”という但し書きが付与された。

当協会としては、本道の広域性や医師の地域偏在の状況を鑑み、すべての市町村・事業所において内視鏡検査へ切り替えるのは困難と思われることから、X線検査の有効性をアピールしながら、今後も質の高いX線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していきたい。

（保健師 張山 朋恵）

表1 胃がん検診実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～平成27年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 瘢痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
38～22	7,356,414	819,832	11.1	718,750	87.7	10,858	59,845	55,125	93,066	12,501	191,298	29,106	266,951
23	127,683	8,293	6.5	7,259	87.5	200	1,137	330	1,056	67	2,881	549	1,039
24	122,053	7,966	6.5	7,028	88.2	210	1,083	300	961	54	3,017	515	888
25	117,225	7,601	6.5	6,605	86.9	220	889	265	771	69	3,252	478	661
26	113,815	6,962	6.1	6,152	88.4	193	697	225	571	57	3,399	485	525
27	116,739	5,450	4.7	4,810	88.3	151	555	193	471	37	2,675	390	338
計	7,953,929	856,104	10.8	750,604	87.7	11,832	64,206	56,438	96,896	12,785	206,522	31,523	270,402

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～平成27年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
38～22	7,356,414	753,673	6,602,741	10,858	0.15	964	0.13	9,894	0.15	1.32
23	127,683	31,500	96,183	200	0.16	35	0.11	165	0.17	2.41
24	122,053	30,712	91,341	210	0.17	51	0.17	159	0.17	2.64
25	117,225	29,462	87,763	220	0.19	38	0.13	182	0.21	2.89
26	113,815	28,553	85,262	193	0.17	44	0.15	149	0.17	2.77
27	116,739	29,452	87,287	151	0.13	32	0.11	119	0.14	2.77
合計	7,953,929	903,352	7,050,577	11,832	0.15	1,164	0.13	10,668	0.15	1.38

国の指標値（許容値） 0.11%以上 1.0%以上

表3 胃がん検診実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	64,809	17,086	47,723	2,733	4.2	545	3.2	2,188	4.6	2,438	89.2	88	0.14	22	0.13	66	0.14	3.22
旭川	35,185	8,453	26,732	1,972	5.6	382	4.5	1,590	5.9	1,720	87.2	51	0.14	8	0.09	43	0.16	2.59
釧路	16,745	3,913	12,832	745	4.4	136	3.5	609	4.7	652	87.5	12	0.07	2	0.05	10	0.08	1.61
合計	116,739	29,452	87,287	5,450	4.7	1,063	3.6	4,387	5.0	4,810	88.3	151	0.13	32	0.11	119	0.14	2.77

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70%以上 0.11%以上 1.0%以上

表4 性・年齢別胃がん検診実施状況及び精検結果（平成27年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	2,004	30	22	0	0	2	3	1	12	1	3
	女	1,438	20	14	1	0	1	0	0	6	3	3
	計	3,442	50	36	1	0	3	3	1	18	4	6
40～44	男	3,873	103	86	0	2	8	5	2	51	10	8
	女	4,291	44	42	0	1	2	3	1	28	4	3
	計	8,164	147	128	0	3	10	8	3	79	14	11
45～49	男	3,493	118	97	0	6	7	12	1	60	6	5
	女	4,055	52	45	1	7	3	1	0	22	5	6
	計	7,548	170	142	1	13	10	13	1	82	11	11
50～54	男	3,184	150	101	1	6	4	13	2	62	7	6
	女	4,957	97	86	0	13	5	6	4	46	4	8
	計	8,141	247	187	1	19	9	19	6	108	11	14
55～59	男	3,319	197	147	4	10	10	19	3	82	11	8
	女	6,009	162	139	4	15	5	20	1	72	8	14
	計	9,328	359	286	8	25	15	39	4	154	19	22
60～64	男	5,803	431	349	7	25	15	44	4	208	27	19
	女	10,517	357	325	5	44	10	28	3	189	26	20
	計	16,320	788	674	12	69	25	72	7	397	53	39
65～69	男	9,356	696	594	30	58	24	86	7	307	43	39
	女	14,343	577	536	10	69	18	32	3	317	45	42
	計	23,699	1,273	1,130	40	127	42	118	10	624	88	81
70～74	男	8,379	665	590	26	62	21	77	3	324	43	34
	女	12,034	532	505	9	82	17	33	0	286	32	46
	計	20,413	1,197	1,095	35	144	38	110	3	610	75	80
75～79	男	5,898	446	413	21	49	12	41	0	223	41	26
	女	6,723	320	304	12	49	10	15	0	160	32	26
	計	12,621	766	717	33	98	22	56	0	383	73	52
80～	男	3,706	260	236	13	35	9	17	2	132	17	11
	女	3,357	193	179	7	22	10	16	0	88	25	11
	計	7,063	453	415	20	57	19	33	2	220	42	22
合計	男	49,015	3,096	2,635	102	253	112	317	25	1,461	206	159
	女	67,724	2,354	2,175	49	302	81	154	12	1,214	184	179
	計	116,739	5,450	4,810	151	555	193	471	37	2,675	390	338

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和38年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	61,313	9	0.01
30～39	801,901	222	0.03
40～49	1,995,666	1,037	0.05
50～59	2,069,648	2,202	0.11
60～69	1,948,536	4,436	0.23
70～	959,960	3,775	0.39
年齢不詳	166	0	0.00
計	7,837,190	11,681	0.15

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成27年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	109	73	36	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	748	463	285	1	0	1	0.13	0.00	0.35
35～39	2,585	1,468	1,117	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	8,164	3,873	4,291	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	7,548	3,493	4,055	1	0	1	0.01	0.00	0.02
50～54	8,141	3,184	4,957	1	1	0	0.01	0.03	0.00
55～59	9,328	3,319	6,009	8	4	4	0.09	0.12	0.07
60～64	16,320	5,803	10,517	12	7	5	0.07	0.12	0.05
65～69	23,699	9,356	14,343	40	30	10	0.17	0.32	0.07
70～74	20,413	8,379	12,034	35	26	9	0.17	0.31	0.07
75～79	12,621	5,898	6,723	33	21	12	0.26	0.36	0.18
80～	7,063	3,706	3,357	20	13	7	0.28	0.35	0.21
計	116,739	49,015	67,724	151	102	49	0.13	0.21	0.07

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成27年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	29,405	12,367	17,038	71	49	22	0.24	0.40	0.13
1 年 前	66,533	29,192	37,341	56	39	17	0.08	0.13	0.05
2 年 前	15,734	5,708	10,026	17	8	9	0.11	0.14	0.09
3 年 前	5,067	1,748	3,319	7	6	1	0.14	0.34	0.03
計	116,739	49,015	67,724	151	102	49	0.13	0.21	0.07

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～平成26年度

年度	発見がん 数 (A)	手術施行 数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術未 施行数 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
38～22	10,858	10,156	93.5	6,014	59.2	3,948	38.9	194	1.9			702	6.5
23	200	185	92.5	145	78.4	40	21.6	0	0.0	62	33.5	15	7.5
24	210	192	91.4	151	78.6	41	21.4	0	0.0	83	43.2	18	8.6
25	220	203	92.3	164	80.8	38	18.7	1	0.5	83	40.9	17	7.7
26	193	182	94.3	132	72.5	48	26.4	2	1.1	75	41.2	11	5.7
計	11,681	10,918	93.5	6,606	60.5	4,115	37.7	197	1.8			763	6.5

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成26年度）

手術施行	早 期		進 行			深達度不明
	M	S M	M P	S S	S	
182	80	52	15	16	17	2

胃癌取扱い規約に準ずる。

子宮頸がん検診

平成27年度は、2台の検診車で121市町村¹⁾を延233日間²⁾巡回したほか、7事業所³⁾に延8日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、45名（平成28年9月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌65・旭川38・釧路18市町村 2) 札幌115・旭川82・釧路36日間 3) 札幌4・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌4・旭川1・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	56,686	30,140	20,053	6,493	36,179	20,017	12,369	3,793	20,507	10,123	7,684	2,700
事業所 ⁶⁾	7,719	4,006	2,339	1,374	6,300	3,374	1,980	946	1,419	632	359	428
個 人 ⁷⁾	2,072	1,618	283	171	2,028	1,593	264	171	44	25	19	0
合 計	66,477	35,764	22,675	8,038	44,507	24,984	14,613	4,910	21,970	10,780	8,062	3,128

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

7) 上記以外のもの

【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は66,477名で、検診車による巡回検診は21,970名（33%）、検診センターでの施設検診は44,507名（66%）を実施した。平成27年度の受診数は前年度の受診数と比較すると332名増となっており、巡回検診では367名の減となっているが、施設検診で699名の増加が見られた。

年齢階級別では20歳代、30歳代の受診が減少し、40歳代、50歳代では受診数の増加が見られた。

全体の受診割合を見ても、依然として20歳代、30歳代の受診割合は低く、40歳以上での受診割合が高くなっている。特に60歳代の受診割合が高い傾向が見られる。

検診結果は平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施しており、細胞診陰性者が65,649名、細胞診陽性者が828名という結果であった。

精密検査該当者（要経過観察は除く）619名のうち、精密検査受診数は574名であり、精検受診率は92.7%、発見がん数は44名であった。また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者232名のうち経過観察受診数は166名で、経過観察後1名のがんが見つかった。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんの割合が高い。

平成27年度の発見がん45名のうち35名は上皮内がんであり、年齢階級別の発見がん数では30歳代が19名と最も多く見られ、発見率で見ても30歳代が0.41%と最も高くなっている。子宮頸がんは20歳以上を対象としているが、当協会では20歳代・30歳代の受診数は少ない。この年代の細胞診陽性率が高く30歳代のがん発見率は高い。早期にがんを見つけるためには、若年層に検診の重要性を理解してもらえるよう働きかけていくことが必要である。

【子宮体がん検診】

子宮体がん検診の受診総数は3,095名で、検診車による巡回検診は507名、検診センターでの施設検診は2,588名を実施した。子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は25名、経過観察該当者は230名であった。精密検査該当者25名のうち全員が精密検査を受診し、精検受診率は100%となっている。

発見がん数は14名で、年齢階級別では50歳以上で体がんが多く見つかり、発見率は0.45%であった。

（保健師 縣 有）

表1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成27年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～22	4,038,016	1,599,245	2,438,771	6,534	0.16	3,054	0.19	3,480	0.14	
23	74,325	49,101	25,224	108	0.15	75	0.15	33	0.13	21.77
24	68,050	45,098	22,952	97	0.14	63	0.14	34	0.15	17.34
25	67,282	43,853	23,429	101	0.15	73	0.17	28	0.12	9.87
26	66,145	43,808	22,337	85	0.13	51	0.12	34	0.15	9.01
27	66,477	44,507	21,970	65	0.10	49	0.11	16	0.07	8.48
合計	4,380,295	1,825,612	2,554,683	6,990	0.16	3,365	0.18	3,625	0.14	11.89

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		I	II		III			IV	V
			II	II r	III a	III	III b		
実 数									
41～16	3,579,330	2,219,770	1,327,347	8,413	13,740	960	5,711	2,304	1,085
17	78,393	31,378	46,098	226	527	0	137	11	16
18	71,549	27,549	43,200	181	432	0	140	31	16
19	78,037	29,947	47,260	238	419	0	140	22	11
20	73,109	26,007	46,185	287	426	0	167	20	17
21	80,255	31,264	48,130	216	401	0	187	33	24
計	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (％)									
41～16	100	62.02	37.08	0.24	0.38	0.03	0.16	0.06	0.03
17	100	40.03	58.80	0.29	0.67	0.00	0.17	0.01	0.02
18	100	38.50	60.38	0.25	0.60	0.00	0.20	0.04	0.02
19	100	38.38	60.56	0.30	0.54	0.00	0.18	0.03	0.01
20	100	35.57	63.17	0.39	0.58	0.00	0.23	0.03	0.02
21	100	38.96	59.97	0.27	0.50	0.00	0.23	0.04	0.03
計	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

平成22年度～平成27年度

年度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGCNO	AGC	AIS	ADC	OTH	USAT
22	77,343	76,517	261	220	37	240	10	23	17	1	5	0	12
23	74,325	73,608	239	207	38	190	7	18	8	0	0	0	10
24	68,050	67,360	254	171	47	163	6	20	9	2	7	1	10
25	67,282	66,173	480	230	87	227	7	20	6	1	1	0	50
26	66,145	65,090	457	228	59	232	17	16	11	0	0	0	35
27	66,477	65,649	392	151	48	153	8	24	6	0	5	0	41
計	419,622	414,397	2,083	1,207	316	1,205	55	121	57	4	18	1	158

注）平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取り扱い規約に準ずる

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～平成27年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他 有所見
41～22	4,038,016	22,841	0.6	45,036	1.1	546,284
23	74,325	369	0.5	443	0.6	8,782
24	68,050	438	0.6	329	0.5	8,278
25	67,282	859	1.3	327	0.5	8,958
26	66,145	850	1.3	253	0.4	1,548
27	66,477	619	0.9	232	0.3	1,729
計	4,380,295	25,976	0.6	46,620	1.1	575,579

国の指標値（許容値）

1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成27年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～22	4,038,016	1,599,245	2,438,771	—	—	—	—	—	—	—
23	74,325	49,101	25,224	87	0.12	59	0.12	28	0.11	19.78
24	68,050	45,098	22,952	74	0.11	45	0.10	29	0.13	14.84
25	67,282	43,853	23,429	83	0.12	58	0.13	25	0.11	8.85
26	66,145	43,808	22,337	70	0.11	37	0.08	33	0.15	7.80
27	66,477	44,507	21,970	45	0.07	34	0.08	11	0.05	7.11
合計	4,380,295	1,825,612	2,554,683	359	0.10	233	0.10	126	0.11	10.37

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管 轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	35,764	24,984	10,780	457	1.28	319	1.28	138	1.28	424	92.8	24	0.07	18	0.07	6	0.06	5.25
旭川	22,675	14,613	8,062	107	0.47	71	0.49	36	0.45	99	92.5	17	0.07	13	0.09	4	0.05	15.89
釧路	8,038	4,910	3,128	55	0.68	32	0.65	23	0.74	51	92.7	3	0.04	2	0.04	1	0.03	5.45
合計	66,477	44,507	21,970	619	0.93	422	0.95	197	0.90	574	92.7	44	0.07	33	0.07	11	0.05	7.10

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※経過観察からの発見がんを除く

表6 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（累計）

昭和41年度～平成27年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		異型上皮		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
41～22	22,841	22,511	98.6	4,525	20.1	4,750	21.1	13,236	58.8	
23	369	348	94.3	63	18.1	181	52.0	94	27.0	10
24	438	415	94.7	52	12.5	192	46.3	158	38.1	13
25	859	804	93.6	63	7.8	350	43.5	378	47.0	13
26	850	802	94.4	49	6.1	334	41.6	401	50.0	18
27	619	574	92.7	36	6.3	210	36.6	320	55.7	8
計	25,976	25,454	98.0	4,788	18.8	6,017	23.6	14,587	57.3	62

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにかんと診断されたもの”の数であるため、表4・5とは一致しない。

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
41～22	52,056	47,923	92.1	2,061
23	724	664	91.7	28
24	667	595	89.2	21
25	938	744	79.3	16
計	54,385	49,926	91.8	2,126

平成26年度～平成27年度

年 度	経過観察該当数	経過観察 受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん	該当月未到達
26	253	205	81.0	3	0
27	232	166	71.6	1	3
計	485	371	76.5	4	

※平成26年度よりシステム変更に伴い、経過観察該当数は当該年度に検診を受診し経過観察となった者のみとし、精検受診後に経過観察となった者や、前年度以前に検診を受診し経過観察中の者を含めないこととしたため、該当数が減少した。

表8 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和41年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	42,002	115	0.27
30～39	903,734	2,038	0.23
40～49	1,317,949	2,197	0.17
50～59	1,141,267	1,144	0.10
60～69	713,435	606	0.08
70～	193,552	172	0.09
計	4,311,939	6,272	0.15

※10歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表10 子宮がん検診（頸部）受診歴別発見がん数（平成27年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	21,550	35	0.16
1 年前	17,438	2	0.01
2 年前	23,271	5	0.02
3 年前	4,218	3	0.07
計	66,477	45	0.07

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（平成27年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～19	12	0	0.00
20～24	795	0	0.00
25～29	1,315	1	0.08
30～34	2,567	3	0.12
35～39	3,877	16	0.41
40～44	6,995	10	0.14
45～49	6,090	3	0.05
50～54	6,680	4	0.06
55～59	6,542	1	0.02
60～64	9,429	1	0.01
65～69	10,093	4	0.04
70～74	7,541	2	0.03
75～79	3,346	0	0.00
80～	1,195	1	0.08
計	66,477	46	0.07

※5歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）

年 度	発見がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他の がん
		上皮内 がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
41～22	6,534	3,730	1,215	809	67	362	351
23	108	65	12	8	2	16	5
24	97	57	9	8	0	17	6
25	101	60	11	12	0	12	6
26	85	52	10	4	4	15	0
27	65	35	4	3	3	14	5
計	6,990	3,999	1,261	844	76	436	373

表11 【再掲】子宮がん検診（体部）発見がんの臨床病期

年度	発見がん数	0期	I a期	I b期	I c期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	肉腫	転移性腺がん	進行期不明	他	卵巣がん
62～27	436	12	152	149	28	30	36	3	13	1	12	5	9

表12 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～平成27年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	精検不要	陰性	疑陽性	陽性	
62～22	93,350	1,575	1.7	1,929	2.1		90,112	2,977	261	362
23	4,161	34	0.8	110	2.6	4,017	4,024	128	9	16
24	3,359	36	1.1	108	3.2	3,215	3,218	131	10	17
25	3,597	26	0.7	207	5.8	3,364	3,371	216	10	12
26	3,373	33	1.0	246	7.3	3,094	3,094	270	9	15
27	3,095	25	0.8	230	7.4	2,840	2,841	163	4	14
計	110,935	1,729	1.6	2,830	2.6	16,530	106,660	3,885	303	436

※H25までその他に超音波所見を含む

表13 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成27年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
62～22	93,350	69,318	24,032	362	0.39	266	0.38	96	0.40	
23	4,161	3,525	636	16	0.38	11	0.31	5	0.79	38.24
24	3,359	2,887	472	17	0.51	15	0.52	2	0.42	44.44
25	3,597	2,963	634	12	0.33	10	0.34	2	0.32	42.30
26	3,373	2,830	543	15	0.44	14	0.49	1	0.18	36.36
27	3,095	2,588	507	14	0.45	11	0.43	3	0.59	40.00
合計	110,935	84,111	26,824	436	0.39	327	0.39	109	0.41	40.26

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	2,034	1,773	261	12	0.59	10	0.56	2	0.77	12	100	7	0.34	5	0.28	2	0.77	41.67
旭川	974	784	190	11	1.13	9	1.15	2	1.05	11	100	6	0.62	6	0.77	0	0.00	36.36
釧路	87	31	56	2	2.30	1	3.23	1	1.79	2	100	1	1.15	0	0.00	1	1.79	50.00
合計	3,095	2,588	507	25	0.81	20	0.77	5	0.99	25	100	14	0.45	11	0.43	3	0.59	40.00

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～平成27年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
23	34	31	91.2	13	41.9	4	12.9	14	0.5	0
24	36	34	94.4	15	44.1	2	5.9	16	0.5	1
25	26	26	100.0	10	38.5	2	7.7	13	0.5	1
26	33	33	100.0	12	36.4	2	6.1	19	0.6	0
27	25	25	100.0	10	40.0	1	4.0	14	0.6	0
計	154	149	96.8	60	40.3	11	7.4	76	0.5	2

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表12～14とは一致しない。

表16 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～平成27年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
23	110	98	89.1	4
24	108	99	91.7	1
25	207	188	90.8	2
26	246	235	95.5	3
27	230	206	89.6	4
計	901	826	91.7	14

表17 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	15	0	0.00
30～39	477	3	0.63
40～49	6,866	48	0.70
50～59	20,282	288	1.42
60～69	16,332	150	0.92
70～	5,833	54	0.93
計	49,805	543	1.09

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12・13とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（平成27年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	1,991	4	0.20
1 年前	465	5	1.08
2 年前	512	5	0.98
3 年前	127	0	0.00
計	3,095	14	0.45

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（平成27年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	0	0	0.00
30～34	2	0	0.00
35～39	18	1	5.56
40～44	81	1	1.23
45～49	282	1	0.35
50～54	577	4	0.69
55～59	402	2	0.50
60～64	516	4	0.78
65～69	575	0	0.00
70～74	434	4	0.92
75～79	164	1	0.61
80～	44	0	0.00
計	3,095	18	0.58

※5歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12～14及び表19とは一致しない。

乳がん検診

平成27年度は、2台の検診車で118市町村¹⁾を延287日間²⁾巡回したほか、8事業所³⁾に延10日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、314名（平成28年9月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川38・釧路16市町村 2) 札幌139・旭川105・釧路43日間 3) 札幌6・釧路2事業所 4) 札幌7・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	59,616	32,910	19,546	7,160	38,453	22,669	11,573	4,211	21,163	10,241	7,973	2,949
事業所 ⁶⁾	6,898	3,643	2,126	1,129	5,921	3,165	1,939	817	977	478	187	312
個 人 ⁷⁾	4,991	2,677	1,938	376	4,948	2,661	1,911	376	43	16	27	0
合 計	71,505	39,230	23,610	8,665	49,322	28,495	15,423	5,404	22,183	10,735	8,187	3,261

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数71,505名のうち、検診車による巡回検診は22,183名（31.0%）、検診センターでの施設検診は49,322名（69.0%）であった。国の指針による40歳以上のマンモグラフィ併用検診対象者は隔年受診のため、平成25年度の受診数と比較すると2,620名増（検診車225名増、検診センター2,395名増、増加率3.8%）であった。受診歴別にみると、初回受診者数は1,553名増（増加率6.7%）、1年前受診者数は242名減（減少率1.6%）、2年前受診者数は1,513名増（増加率6.0%）、3年前受診者数は204名減（減少率4.2%）、となっている。55～64歳の受診数は減少がみられるが、全体的に受診数の増加がみられた。

要精検者は2,618名（要精検率3.7%）、経過観察者は75名であった。

【発見がんの状況】

平成27年度の発見がん数は314名、乳がん発見率0.44%、陽性反応適中度11.23%であった。

発見率を年齢階級別にみると、80歳以上が0.97%と最も高く、ついで75～79歳で0.61%、70～74歳で0.58%となっている。全体的には、70歳以上の発見率が高いが、50歳代の発見率にも高い傾向がみられる。

また、受診歴別にみると、初回受診者は0.75%と圧倒的に多く、次いで3年前受診者は0.43%、2年前受診者が約0.31%、1年前受診者で0.15%であった。初回受診者のなかでも、対がん協会で検診を初めて受ける方のがん発見率が86.6%と高い割合を占めていた。平成23年度から平成26年度では、I期以下の早期がん割合は68.8%、そのうち非浸潤癌の割合は23.7%であった。

【まとめ】

最近では、タレントの乳がん告白などにより乳がんに関する注目が大きく、メディアでも多くの情報が流れており、その影響もあるのか平成27年度は、10～12月に受診数が増加している。さらに、初回受診者は、昨年までは減少傾向がみられていたが、平成27年度は増加している。2年に1回の間隔で受診する者も増えており、乳がん検診に対する認識が高まっている様子が伺える。また、初回受診者には、乳がんが多く発見されており、初回受診者の開拓が重要であることをあらためて感じた。

メディアによる影響を鑑みると啓発活動の必要性を感じ、ピンクリボン活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に役立てていきたい。

（保健師 周東 百合子）

表1 乳がん検診結果（累計）

昭和48年度～平成27年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
48～22	2,223,104	130,623	5.9	17,648	0.8	58,442	2.6	6,547	0.29	137,066	6,909	58,331	68,555	62,448	12,479
23	74,913	3,296	4.4	252	0.3	522	0.7	293	0.39	1,114	233	2,481	597	1,509	89
24	70,009	3,384	4.8	244	0.3	606	0.9	336	0.48	1,072	234	2,643	505	1,257	116
25	68,885	2,953	4.3	131	0.2	586	0.9	308	0.45	962	229	1,975	345	811	109
26	68,309	2,764	4.0	149	0.2	389	0.6	299	0.44	403	212	1,909	331	810	91
27	71,505	2,618	3.7	75	0.1	354	0.5	314	0.44	303	152	1,814	269	661	92
計	2,576,725	145,638	5.7	18,499	0.7	60,899	2.4	8,097	0.31	140,920	7,969	69,153	70,602	67,496	12,976

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 乳がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～平成27年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
48～22	2,223,104	1,279,798	943,306	6,547	0.29	4,728	0.37	1,819	0.19	
23	74,913	52,011	22,902	293	0.39	212	0.41	81	0.35	8.07
24	70,009	48,142	21,867	336	0.48	241	0.50	95	0.43	9.04
25	68,885	46,927	21,958	308	0.45	229	0.49	79	0.36	8.74
26	68,309	46,907	21,402	299	0.44	214	0.46	85	0.40	9.95
27	71,505	49,322	22,183	314	0.44	223	0.45	91	0.41	11.23
合計	2,576,725	1,523,107	1,053,618	8,097	0.31	5,847	0.38	2,250	0.21	

国の指標値（許容値）

0.23%以上

2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 乳がん検診実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	39,230	28,495	10,735	1,175	3.0	788	2.8	387	3.6	1,148	97.7	178	0.45	132	0.46	46	0.43	14.13
旭川	23,610	15,423	8,187	1,011	4.3	604	3.9	407	5.0	1,000	98.9	101	0.43	67	0.43	34	0.42	9.50
釧路	8,665	5,404	3,261	432	5.0	263	4.9	169	5.2	420	97.2	35	0.40	24	0.44	11	0.34	7.41
合計	71,505	49,322	22,183	2,618	3.7	1,655	3.4	963	4.3	2,568	98.1	314	0.44	223	0.45	91	0.41	11.23

国の指標値（許容値）

11.0%以下

80%以上

0.23%以上

2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 乳がん検診要組織診結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要 組 織 診 該 当 数	組 織 診 受 診 数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
53～21	34,089	33,343	5,233	15.4	10,679	31.3	2,468	7.2	14,342	42.1
22	2,504	2,464	362	14.5	368	14.7	121	4.8	1,573	62.8
23	2,157	2,116	285	13.2	309	14.3	92	4.3	1,395	64.7
24	2,414	2,355	330	13.7	289	12.0	109	4.5	1,629	67.5
25	2,370	2,295	302	12.7	241	10.2	106	4.5	1,606	67.8
計	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 乳がん検診要精検結果（累計）

平成26年度～平成27年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
26	2,764	2,713	297	10.7	287	10.4	209	7.6	1,828	66.1
27	2,618	2,568	314	12.0	303	11.8	152	5.9	1,814	70.6
計	5,382	5,281	611	11.4	590	11.1	361	6.8	3,642	68.3

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	15,552	16	0.10
30～39	331,109	368	0.11
40～49	686,923	2,182	0.32
50～59	724,636	2,180	0.30
60～69	564,526	2,140	0.38
70～	182,474	897	0.49
計	2,505,220	7,783	0.31

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

(平成27年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	595	0	0.00
30～34	1,444	1	0.07
35～39	2,708	6	0.22
40～44	8,981	19	0.21
45～49	7,248	28	0.39
50～54	8,026	36	0.45
55～59	7,335	38	0.52
60～64	10,365	57	0.55
65～69	11,179	43	0.38
70～74	8,402	49	0.58
75～79	3,786	23	0.61
80～	1,436	14	0.97
計	71,505	314	0.44

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（平成27年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	24,779	187	0.75
1年前受診	15,266	23	0.15
2年前受診	26,859	84	0.31
3年前受診	4,601	20	0.43
計	71,505	314	0.44

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～平成26年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
48～22	6,547	3,119	976	2,452
23	293	172	27	94
24	336	191	30	115
25	308	147	50	111
26	299	157	24	118
計	7,783	3,786	1,107	2,890

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～平成26年度

年 度	総 数	病 期 分 類								
		早 期 が ん				進 行 が ん				不 明
		計	O	I	旧分類O	計	II	III	IV	
48～22	6,547	3,751	645	3,051	55	2,745	2,328	357	60	51
23	293	187	49	138	0	101	86	9	6	5
24	336	229	46	183	0	102	91	9	2	5
25	308	217	55	162	0	85	79	5	1	6
26	299	202	39	163	0	91	79	7	5	6
合計	7,783	4,586	834	3,697	55	3,124	2,663	387	74	73

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

平成27年度は、18台の検診車で116市町村¹⁾を延1,792日間²⁾巡回したほか、29事業所³⁾に延56日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で8市町村を延20日間巡回したほか、4事業所に延5日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では67名、胸部CT検査では17名（平成28年9月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌58・旭川39・釧路19市町村 2) 札幌687・旭川625・釧路480日間 3) 札幌19・旭川6・釧路4事業所 4) 札幌33・旭川14・釧路9日間

胸部 X線検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	85,417	34,302	33,671	17,444	18,315	5,520	8,862	3,933	67,102	28,782	24,809	13,511
事業所 ⁶⁾	1,106	281	216	609	143	101	20	22	963	180	196	587
個 人 ⁷⁾	7,492	7,388	83	21	7,476	7,388	69	19	16	0	14	2
合計	94,015	41,971	33,970	18,074	25,934	13,009	8,951	3,974	68,081	28,962	25,019	14,100

胸部 CT検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	1,932	513	1,071	348	125	73	52	0	1,807	440	1,019	348
事業所 ⁶⁾	219	212	3	4	95	88	3	4	124	124	0	0
個 人 ⁷⁾	1,987	1,832	65	90	1,920	1,829	65	26	67	3	0	64
合計	4,138	2,557	1,139	442	2,140	1,990	120	30	1,998	567	1,019	412

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【胸部X線検査】

受診総数は94,015名で、検診車による巡回検診が68,081名（72.4%）、検診センターでの施設検診が25,934名（27.6%）であり、前年度に比べ3,584名増加した（検診車で2,632名、検診センターで952名増加、増加率4.0%）。検診車、検診センターとも受診数は年々減少傾向にあったが、平成27年度は新たに受託した市町村もあり、受診数増加へつなげた。

性・年齢階級別の受診状況では、男女ともに60～70歳代の受診が多く、前年度までと比較しても受診層に変わりはない。

受診歴別では、1年前受診者は男性21,660名（60.4%）、女性32,386名（55.7%）、男女あわせて54,046名（57.5%）と全体の半分以上を占めている。昨年度と比較して、初回受診者は2,556名増加（増加率6.8%）、1年前受診者で1,028名増加（増加率1.9%）した。

要精検数は1,829名で、精検受診率は91.6%と前年度より1.3ポイント減少している。

肺がん発見率は0.07%と大きく変わりはない。

平成26年度の発見がんのうち、Ⅰ期の割合は43.3%と全体の半分近くを占めている。

検診で発見されるがんはⅠ期の割合が高い。早期にがんを見つけるためにも、今後も初回受診者の受診拡大にむけたアプローチと、継続受診の必要性を周知していくことが必要である。

【胸部CT検査】

受診数は4,138名で、検診車による巡回検診は1,998名（48.3%）、検診センターでの施設検診は2,140名（51.7%）と、前年度に比べ372名増加した（検診車で179名、検診センターで193名、増加率9.9%）。

要精検数は142名で、精検受診率は95.8%と昨年より1.2ポイント増加している。

肺がん発見率は0.41%と前年度より0.12ポイント増加しているが、全体的にみると横ばいで経過している。

発見がんのうちⅠ期の割合は81.8%で、平成14年度からの総計でもⅠ期の割合は79.6%と、胸部X線検査に比べⅠ期の段階で多く発見されている。

CT検査では胸部X線検査と比較して早期がんが多く発見される反面、要精検者や偽陽性で経過観察となる割合も高い。受診者への身体的、経済的負担等が生じることもあるため、メリット・デメリットを理解したうえで受診できるよう配慮していく。

（保健師 横内 紫乃）

表1 肺がん検診結果（累計）

昭和51年度～平成27年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
51～22	2,515,515	205,653	88,946	3.5	300,961	12.0	82,421	92.7
23	96,279	4,002	2,429	2.5	10,085	10.5	2,227	91.7
24	94,169	3,781	2,223	2.4	10,270	10.9	2,011	90.5
25	91,329	3,419	2,091	2.3	10,608	11.6	1,933	92.4
26	90,431	2,592	2,040	2.3	10,642	11.8	1,896	92.9
27	94,015	2,454	1,829	1.9	11,633	12.4	1,676	91.6
計	2,981,738	221,901	99,558	3.3	354,199	11.9	92,164	92.6

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～平成27年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
51～22	2,515,515	437,979	2,077,536	1,858	0.07	398	0.09	1,460	0.07	2.09
23	96,279	26,975	69,304	73	0.08	14	0.05	59	0.09	3.01
24	94,169	26,625	67,544	87	0.09	23	0.09	64	0.09	3.91
25	91,329	25,778	65,551	85	0.09	20	0.08	65	0.10	4.07
26	90,431	24,982	65,449	90	0.10	21	0.08	69	0.11	4.41
27	94,015	25,934	68,081	67	0.07	13	0.05	54	0.08	3.66
合計	2,981,738	568,273	2,413,465	2,260	0.08	489	0.09	1,771	0.07	2.27

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 肺がん検診実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	41,971	13,009	28,962	620	1.5	163	1.3	457	1.6	582	93.9	39	0.09	9	0.07	30	0.10	6.29
旭川	33,970	8,951	25,019	869	2.6	145	1.6	724	2.9	784	90.2	18	0.05	2	0.02	16	0.06	2.07
釧路	18,074	3,974	14,100	340	1.9	57	1.4	283	2.0	310	91.2	10	0.06	2	0.05	8	0.06	2.94
合計	94,015	25,934	68,081	1,829	1.9	365	1.4	1,464	2.2	1,676	91.6	67	0.07	13	0.05	54	0.08	3.66

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～平成27年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
62～22	188,959	394	3,107	653	184,836	3,086	208	176	219	37
23	4,002	5	37	4	3,955	39	3	1	3	1
24	3,781	9	35	5	3,732	35	5	4	6	1
25	3,419	4	30	3	3,382	29	3	2	4	1
26	2,592	2	25	2	2,566	22	1	1	3	0
27	2,454	0	9	2	2,447	5	0	0	0	0
計	205,207	414	3,243	669	200,918	3,216	220	184	235	40

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和38年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	201,366	4	0.00
40～49	475,803	62	0.01
50～59	675,631	226	0.03
60～69	925,401	947	0.10
70～	609,522	954	0.16
計	2,887,723	2,193	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成27年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率(%)		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	2,282	1,095	1,187	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,457	1,591	2,866	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,440	1,586	2,854	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	5,457	1,658	3,799	3	2	1	0.05	0.12	0.03
55～59	6,792	2,076	4,716	0	0	0	0.00	0.00	0.00
60～64	13,426	4,326	9,100	4	1	3	0.03	0.02	0.03
65～69	20,833	7,857	12,976	22	15	7	0.11	0.19	0.05
70～74	18,163	7,079	11,084	19	8	11	0.10	0.11	0.10
75～79	11,391	5,150	6,241	12	8	4	0.11	0.16	0.06
80～	6,774	3,434	3,340	7	2	5	0.10	0.06	0.15
総 数	94,015	35,852	58,163	67	36	31	0.07	0.10	0.05

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（平成27年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	39,969	14,192	25,777	24	10	14	0.06	0.07	0.05
1 年 前	54,046	21,660	32,386	43	26	17	0.08	0.12	0.05
計	94,015	35,852	58,163	67	36	31	0.07	0.10	0.05

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～平成26年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		〇 C	O	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不 明
51～22	1,858	2	20	1,000	127	445	220	44
23	73	0	0	44	8	11	10	0
24	87	0	1	50	9	13	12	2
25	85	0	0	47	7	15	13	3
26	90	0	0	39	11	22	15	3
計	2,193	2	21	1,180	162	506	270	52

肺癌取扱い規約準ずる。

C T肺がん検診

表1 C T肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～平成27年度

年度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)
14～22	13,981	10,447	3,534	921	6.6	727	7.0	194	5.5	72	0.51	49	0.47	23	0.65
23	3,272	1,643	1,629	130	4.0	74	4.5	56	3.4	17	0.52	11	0.67	6	0.37
24	3,907	2,076	1,831	125	3.2	81	3.9	44	2.4	23	0.59	16	0.77	7	0.38
25	3,908	2,027	1,881	162	4.1	113	5.6	49	2.6	19	0.49	14	0.69	4	0.21
26	3,766	1,947	1,819	111	2.9	78	4.0	33	1.8	11	0.29	5	0.26	4	0.22
27	4,138	2,140	1,998	142	3.4	74	3.5	38	1.9	17	0.41	11	0.51	6	0.30
合計	32,972	20,280	12,692	1,591	4.8	1,147	5.7	414	3.3	159	0.48	106	0.52	50	0.39

表2 C T肺がん検診結果（累計）

平成14年度～平成27年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率(%)	有所見者数	有所見率(%)	精検受診数	精検受診率(%)
	(再掲)	略痰実施数						
14～22	13,981	2,929	921	6.6	9,670	69.2	878	95.3
23	3,272	516	130	4.0	2,579	78.8	123	94.6
24	3,907	546	125	3.2	3,155	80.8	119	95.2
25	3,908	579	162	4.1	3,221	82.4	155	95.7
26	3,766	398	111	2.9	3,233	85.8	105	94.6
27	4,138	455	142	3.4	3,453	83.4	136	95.8
計	32,972	5,423	1,591	4.8	25,311	76.8	1,516	95.3

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

表3 C T肺がん検診略痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～平成27年度

年 度	略痰検査実施数	要精検者数	要経過観察者数	判定区分					肺がん	その他のがん
				A	B	C	D	E		
14～22	2,929	7	74	13	2,841	70	4	1	2	0
23	516	0	7	1	509	6	0	0	0	0
24	546	1	4	2	539	4	1	0	0	0
25	579	0	4	3	572	3	1	0	0	0
26	398	0	6	3	392	3	0	0	0	0
27	455	0	2	0	453	2	0	0	0	0
計	5,423	8	97	22	5,306	88	6	1	2	0

表4 追跡調査による発見がんの病期区分（ＣＴ検診発見分・累計）

平成14年度～平成27年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		ＯＣ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明
14～22	72	0	0	56	4	7	5	0
23	17	0	0	16	0	1	0	0
24	23	0	0	17	5	1	0	0
25	19	0	0	15	1	2	1	0
26	11	0	1	9	0	1	0	0
計	142	0	1	113	10	12	6	0

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

平成27年度は、123市町村¹⁾、19事業所²⁾で検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、433名（平成28年9月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川41・釧路18市町村 2) 札幌6・旭川10・釧路3事業所

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	129,981	74,470	37,919	17,592	37,396	22,339	10,212	4,845	92,585	52,131	27,707	12,747
事業所 ⁴⁾	9,480	6,093	1,647	1,740	7,570	5,122	955	1,493	1,910	971	692	247
個 人 ⁵⁾	720	562	114	44	707	559	106	42	13	3	8	2
合 計	140,181	81,125	39,680	19,376	45,673	28,020	11,273	6,380	94,508	53,105	28,407	12,996

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【最近の動向について】

平成27年度、がん死亡数は370,131名（大腸がん死亡数49,665名）であった^{*1}。また部位別死亡数順位（2014）は、大腸がんが男性3位、女性1位、がん罹患数全国推計値（2012）は男女とも2位であり、前年に比べ男性のがん罹患数順位があがった^{*2}。また、北海道の大腸がん年齢調整死亡率は男性13.9（全国13.8）、女性8.6（全国7.5）で全国平均より高かった。^{*}1 厚労省人口動態統計 ^{*}2 最新がん統計

【検診の受診状況】

受診総数は140,181名（前年比9,404名増、増加率7.2%）で、検診車による巡回検診が94,508名（前年比増加率7.8%）、検診センターでの施設検診が45,673名（前年比増加率6.0%）であった。とりわけ、札幌管轄の増加（6,062名）が多く、次いで旭川管轄（2,650名）が多かった。受診歴別にみると、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）は41,265名、1～3年前受診者は98,916名で、初回受診者の割合は全体の29.4%であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者は11,128名（検診車7,832名、検診センター3,296名）で、要精検率は7.9%、精検受診率は83.7%であった。精検受診率を男女別にみると男性80.2%、女性86.8%と男女差があった。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低65.0%（～39歳）、最高89.7%（70～74歳）と世代間の差も大きかった。

【発見がんについて】

平成27年度の発見がんの総数は433名（男性228名、女性205名）で、がん発見率は0.31%、陽性反応適中度は3.89であった。全体でみると、男性のがん発見率は女性に比べ1.87倍であり、男女共に初回受診者において、また、高齢になるほどがん発見率が高かった。検診で発見されたがんのうち約7割が早期がんであった。

【まとめ】

受診数が大幅に増加した。これは新規受託市町村の増加と、他がん検診との併用実施による増加が考えられる。要精検者の精検未受診理由には「多忙」「採取時に出血した」などの理由が多く、精検未受診のまま再度検診を受ける者もいる。精検受診はがんの早期発見において重要であり、受診勧奨は書面よりも口頭のほうが、効果が高いという研究報告がある。実施主体との連携を強め、検診後だけでなく、検診受診時にも過去未受診者には特に精検受診の重要性を伝えるなど、受診者の意識の向上に努めていきたい。

（保健師 能田 真結）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～平成27年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精 検 結 果 内 訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	そ の 他	異常なし
62～22	2,302,334	246,645	10.7	209,414	84.9	7,033	2,553	196	80,992	26,213	92,427
23	129,495	8,730	6.7	7,513	86.1	372	129	7	3,479	1,120	2,406
24	126,494	8,898	7.0	7,641	85.9	401	152	11	3,643	1,161	2,273
25	124,216	9,614	7.7	8,333	86.7	435	165	12	4,147	1,260	2,314
26	130,777	10,701	8.2	9,119	85.2	445	149	8	4,596	1,351	2,570
27	140,181	11,128	7.9	9,317	83.7	433	148	11	4,749	1,445	2,531
計	2,953,497	295,716	10.0	251,337	85.0	9,119	3,296	245	101,606	32,550	104,521

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成27年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検 診 車	総 数	%	検診センター	%	検 診 車	%	
62～22	2,302,334	602,819	1,699,515	7,033	0.31	1,747	0.29	5,286	0.31	2.85
23	129,495	39,998	89,497	372	0.29	111	0.28	261	0.29	4.26
24	126,494	40,301	86,193	401	0.32	119	0.30	282	0.33	4.51
25	124,216	40,107	84,109	435	0.35	135	0.34	300	0.36	4.52
26	130,777	43,103	87,674	445	0.34	118	0.27	327	0.37	4.16
27	140,181	45,673	94,508	433	0.31	110	0.24	323	0.34	3.89
合計	2,953,497	812,001	2,141,496	9,119	0.31	2,340	0.29	6,779	0.32	3.08

国の指標値（許容値）

0.13%以上

1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精検受診者数		発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	81,125	28,020	53,105	6,432	7.9	1,992	7.1	4,440	8.4	5,430	84.4	277	0.34	70	0.25	207	0.39	4.31
旭川	39,680	11,273	28,407	3,091	7.8	800	7.1	2,291	8.1	2,593	83.9	105	0.26	23	0.20	82	0.29	3.40
釧路	19,376	6,380	12,996	1,605	8.3	504	7.9	1,101	8.5	1,294	80.6	51	0.26	17	0.27	34	0.26	3.18
合計	140,181	45,673	94,508	11,128	7.9	3,296	7.2	7,832	8.3	9,317	83.7	433	0.31	110	0.24	323	0.34	3.89

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70%以上

0.13%以上

1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（平成27年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,601	65	39	2	0	0	5	12	20
	女	1,646	92	63	0	3	0	10	18	32
	計	3,247	157	102	2	3	0	15	30	52
40～44	男	3,313	189	117	2	7	1	46	13	48
	女	6,108	331	229	2	10	0	54	38	125
	計	9,421	520	346	4	17	1	100	51	173
45～49	男	3,018	184	120	1	7	0	61	20	31
	女	5,541	311	226	4	9	0	58	47	108
	計	8,559	495	346	5	16	0	119	67	139
50～54	男	3,028	193	128	6	5	0	72	15	30
	女	6,772	349	296	10	9	0	99	37	141
	計	9,800	542	424	16	14	0	171	52	171
55～59	男	3,575	281	177	8	8	1	99	23	38
	女	7,873	455	381	18	4	0	155	60	144
	計	11,448	736	558	26	12	1	254	83	182
60～64	男	6,436	560	416	26	7	0	257	50	76
	女	13,608	793	702	31	6	1	306	131	227
	計	20,044	1,353	1,118	57	13	1	563	181	303
65～69	男	10,646	1,095	892	57	5	0	589	110	131
	女	17,752	1,190	1,068	43	11	1	509	178	326
	計	28,398	2,285	1,960	100	16	1	1,098	288	457
70～74	男	9,652	1,092	947	54	10	1	600	129	153
	女	14,864	1,135	1,051	50	13	2	478	186	322
	計	24,516	2,227	1,998	104	23	3	1,078	315	475
75～79	男	6,853	846	747	45	8	1	463	94	136
	女	8,524	805	731	26	12	0	329	131	233
	計	15,377	1,651	1,478	71	20	1	792	225	369
80～	男	4,708	661	561	27	4	1	358	75	96
	女	4,663	501	426	21	10	2	201	78	114
	計	9,371	1,162	987	48	14	3	559	153	210
合計	男	52,830	5,166	4,144	228	61	5	2,550	541	759
	女	87,351	5,962	5,173	205	87	6	2,199	904	1,772
	計	140,181	11,128	9,317	433	148	11	4,749	1,445	2,531

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	4,805	1	0.02
30～39	56,764	31	0.05
40～49	399,312	401	0.10
50～59	657,474	1,318	0.20
60～69	1,018,729	3,738	0.37
70～	676,232	3,197	0.47
計	2,813,316	8,686	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成27年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	182	102	80	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	640	325	315	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,425	1,174	1,251	2	2	0	0.08	0.00	0.00
40～44	9,421	3,313	6,108	4	2	2	0.04	0.06	0.03
45～49	8,559	3,018	5,541	5	1	4	0.06	0.03	0.07
50～54	9,800	3,028	6,772	16	6	10	0.16	0.20	0.15
55～59	11,448	3,575	7,873	26	8	18	0.23	0.22	0.23
60～64	20,044	6,436	13,608	57	26	31	0.28	0.40	0.23
65～69	28,398	10,646	17,752	100	57	43	0.35	0.54	0.24
70～74	24,516	9,652	14,864	104	54	50	0.42	0.56	0.34
75～79	15,377	6,853	8,524	71	45	26	0.46	0.66	0.31
80～	9,371	4,708	4,663	48	27	21	0.51	0.57	0.45
総 数	140,181	52,830	87,351	433	228	205	0.31	0.43	0.23

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成27年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	41,265	15,555	25,710	220	120	100	0.53	0.77	0.39
1 年 前	75,731	30,254	45,477	129	75	54	0.17	0.25	0.12
2 年 前	17,405	5,135	12,270	67	29	38	0.38	0.56	0.31
3 年 前	5,780	1,886	3,894	17	4	13	0.29	0.21	0.33
計	140,181	52,830	87,351	433	228	205	0.31	0.43	0.23

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～平成26年度

年度	発見がん数 (A)	手術 施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術 未施行 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
62～21	6,631	6,580	99.2	4,413	67.1	2,144	32.6	23	0.3	3,174	48.2	51	0.8
22	402	394	98.0	258	65.5	132	33.5	4	1.0	188	47.7	8	2.0
23	372	369	99.2	236	64.0	132	35.8	1	0.3	170	46.1	3	0.8
24	401	396	98.8	275	69.4	121	30.6	0	0.0	207	52.3	5	1.2
25	435	428	98.4	303	70.8	125	29.2	0	0.0	225	52.6	7	1.6
26	445	438	98.4	298	68.0	137	31.3	3	0.7	227	51.8	7	1.6
計	8,686	8,605	99.1	5,783	67.2	2,791	32.4	31	0.4	4,191	48.7	81	0.9

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成26年度）

手術施行	早 期 が ん		進 行 が ん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
438	199	99	35	82	15	5	3

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

平成27年度は、71市町村¹⁾、1事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、157名（平成28年9月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌30・旭川27・釧路14市町村 2) 旭川1事業所

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	12,036	4,868	3,708	3,460	1,233	337	165	731	10,803	4,531	3,543	2,729
事業所 ⁴⁾	374	210	129	35	293	205	54	34	81	5	75	1
個 人 ⁵⁾	3,798	2,596	1,176	26	3,587	2,388	1,173	26	211	208	3	0
合 計	16,208	7,674	5,013	3,521	5,113	2,930	1,392	791	11,095	4,744	3,621	2,730

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定められているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。受診総数は平成18年度より年々増加しており、平成27年度も同様であり、1,383名の増加（増加率9.3%）であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は770名で、要精検率は4.8%であった。そのうち精検受診者数は626名であり、精検受診率は81.3%で、例年と大きな差はなかった。

【発見がんについて】

発見がん（率）は157名（0.97%）で、検診センター52名、検診車105名であった。

年齢階級別にみると、50歳～54歳の階級以降からがんが発見されており、70歳～74歳の階級で発見率はピークとなっている。

受診歴別発見がんでは、3年前の受診者のがん発見率が最も高く、次いで初回受診者の発見率が高かった。

【まとめ】

前立腺がんは高齢化に伴って急増しており、現在は男性の11人に1人が罹患するといわれている。

前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい。特に50歳以上の働き盛りの世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

（保健師 松原 由布子）

表1 前立腺がん検診実施状況及び精検結果（累計）

平成9年度～平成27年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
9～22	83,795	5,500	6.6	4,109	74.7	930	1,521	1,011	647
23	13,901	846	6.1	668	79.0	143	234	167	124
24	14,073	805	5.7	640	79.5	151	211	173	105
25	14,220	787	5.5	627	79.7	124	213	173	117
26	14,825	776	5.2	624	80.4	137	177	175	135
27	16,208	770	4.8	626	81.3	157	162	175	132
計	157,022	9,484	6.0	7,294	76.9	1,642	2,518	1,874	1,260

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～平成27年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
9～22	83,795	26,345	57,450	930	1.11	337	1.28	593	1.03	16.91
23	13,901	4,052	9,849	143	1.03	45	1.11	98	1.00	16.90
24	14,073	4,351	9,722	151	1.07	39	0.90	112	1.15	18.76
25	14,220	4,830	9,390	124	0.87	51	1.06	73	0.78	15.76
26	14,825	4,974	9,851	137	0.92	47	0.94	90	0.91	17.65
27	16,208	5,113	11,095	157	0.97	52	1.02	105	0.95	20.39
計	157,022	49,665	107,357	1,642	1.05	571	1.15	1,071	1.00	17.31

表3 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（平成27年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	7,674	2,930	4,744	368	4.8	136	4.6	232	4.9	315	85.6	81	1.06	36	1.23	45	0.95	22.01
旭川	5,013	1,392	3,621	242	4.8	81	5.8	161	4.4	190	78.5	47	0.94	13	0.93	34	0.94	19.42
釧路	3,521	791	2,730	160	4.5	16	2.0	144	5.3	121	75.6	29	0.82	3	0.38	26	0.95	18.13
総数	16,208	5,113	11,095	770	4.8	233	4.6	537	4.8	626	81.3	157	0.97	52	1.02	105	0.95	20.39

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～平成26年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	900	0	0.00
40～49	4,992	2	0.04
50～59	24,705	58	0.23
60～69	58,823	550	0.94
70～	51,364	875	1.70
年齢不詳	30	0	0.00
総 数	140,814	1,485	1.05

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（平成27年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	5,808	93	1.60
1年前	8,129	35	0.43
2年前	1,670	19	1.14
3年前	601	10	1.66
計	16,208	157	0.97

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（平成27年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	59	0	0.00
40～44	242	0	0.00
45～49	316	0	0.00
50～54	1,015	2	0.20
55～59	1,312	3	0.23
60～64	2,455	14	0.57
65～69	4,235	35	0.83
70～74	3,499	58	1.66
75～79	1,994	30	1.50
80～	1,081	15	1.39
総 数	16,208	157	0.97

※5歳階級表

健康診査

各市町村と契約し、国民健康保険加入者、その他の健康保険組合加入者の特定健康診査ならびに後期高齢者の健康診査、市町村の一般健康診査を実施している。

平成27年度は、79市町村¹⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりである。

1) 札幌33・旭川30・釧路16市町村

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ²⁾	52,393	25,650	17,256	9,487	9,495	6,363	2,159	973	42,898	19,287	15,097	8,514
その他 ³⁾	4,661	2,895	1,291	475	3,619	2,358	856	405	1,042	537	435	70
合 計	57,054	28,545	18,547	9,962	13,114	8,721	3,015	1,378	43,940	19,824	15,532	8,584

2) 実施主体が市町村国民健康保険、後期高齢者健康保険組合、市町村のもの

3) 実施主体がその他の健康保険組合のもの

【表について】

特定健診が開始された平成20年度以降は、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、集計項目を表2のとおり変更した

要指導・要医療の基準値については、厚生労働省健康局や各専門学会のガイドラインを参考に定めている。

また、現在治療中の者は要医療に含めている。

貧血検査、腎機能検査については、市町村の選択項目であるため、市町村によって対象者が異なる。

【受診動向について】

平成27年度の受診総数は57,054名であり、前年度より4,755名増加した。検診車による巡回健診は43,940名（前年比3,631名増）、検診センターでの施設健診は13,114名（前年比1,124名増）であり、昨年度と同様に、巡回健診、施設健診ともに増加していた。

健診結果別にみると、「異常なし」は3,360名（5.9%）であり、「要指導」は16,459名（28.9%）、「要医療（治療継続を含む）」は37,235名（65.2%）で、「要指導」・「要医療」をあわせると約94.1%となり、ほとんどの者が、いずれかの項目で要指導以上の判定となっている。

【各項目について】

各項目において、予備群以上に該当する者は、脂質異常（35,547名、62.3%）、高血圧（28,537名、50.0%）、糖尿病（24,497名、43.0%）、肝疾患（疑いを含む・13,710名、24.0%）、の順に多かった。これを有病者に限定してみると、脂質異常（18,641名、32.7%）、高血圧（16,604名、29.1%）、糖尿病（4,194名、7.4%）、であり、有病者も脂質異常が最も多かった。脂質異常は、平成26年度からLDL値120以上も集計に加味しており、H26年度より該当者が大幅に増えている。喫煙率（総受診数における現在喫煙している者の数）は14.3%と前年度と変わらない。H26年度から上がっており、この年度から新規に健診を実施しはじめた市町村の喫煙率が高いことが考えられる。

【まとめ】

メタボリックシンドロームを予防するためには、適正なカロリー摂取、定期的な運動が必要である。北海道は移動に車を使う習慣が根強く、一日当たりの歩数が全国平均よりも低いことから、意識的にカロリーを制限し、運動する機会を持つことが重要である。

各市町村と連携しながら、健診の周知、受診勧奨に力を入れ、生活習慣病や動脈硬化性疾患の発症を予防する為に、特定健診受診率の向上を目指したい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 基本健康診査

平成5年度～平成19年度

年 度	受診者数	異常なし	要指導	要医療	要 医 療 内 訳						
					循環器疾患	貧 血	肝疾患	糖尿病	尿路系疾患	腎機能障害	その他
5～15	203,295	35,450	57,453	110,392	86,568	4,467	18,718	14,006	13,884	2,007	22,284
16	34,512	5,184	11,020	18,308	15,075	772	2,815	2,641	1,719	463	5,061
17	36,581	5,442	12,199	18,940	15,771	792	3,067	2,878	1,645	589	4,380
18	45,650	6,395	12,919	26,336	22,633	1,052	3,377	4,307	1,962	905	6,130
19	50,399	7,548	14,269	28,582	23,234	1,237	3,930	4,735	2,037	769	7,516
計	370,437	60,019	107,860	202,558	163,281	8,320	31,907	28,567	21,247	4,733	45,371

注) 1人で2以上の疾患を有するものがあるため要医療と要医療内訳の計は一致しない。

要医療はすでに治療継続中も含む。

平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

表2 健康診査

平成20年度～平成26年度

年 度	受診 者数	異常 なし	要指導	要医療	要指導・要医療内訳													喫煙率 (%)
					高 血 圧		脂質異常		糖 尿 病		肝疾患(疑いを含む)		貧血 (注1) (疑いを含む)	腎機能 障害 (注1) (疑いを含む)				
					(再 掲)		(再掲)		(再掲)		(再掲)							
					予備群	有病者	有病者	予備群	有病者	うちアル コール性 (疑いを含む)								
20	41,796	1,735	16,516	23,545	21,675	8,831	12,844	7,017	929	32,737	30,367	2,370	9,499	5,880	2,866	1,011	13.3	
21	46,672	1,842	17,582	27,248	23,230	9,322	13,908	7,516	1,075	36,573	34,111	2,462	10,481	6,466	4,066	1,082	12.3	
22	49,620	2,979	17,334	29,307	23,943	10,315	13,628	8,378	1,110	30,833	28,554	2,279	11,466	6,722	3,597	1,415	11.4	
23	49,529	3,010	16,646	29,873	23,733	10,148	13,585	8,242	1,093	30,493	28,095	2,398	12,302	6,773	2,890	1,521	11.3	
24	49,633	2,900	16,528	30,205	23,559	10,242	13,317	8,134	1,178	29,478	27,194	2,284	12,015	6,873	2,940	1,642	11.7	
25	49,329	3,193	15,606	30,530	23,288	10,066	13,222	8,070	1,071	12,219	10,096	2,123	11,845	6,505	2,806	2,013	11.5	
26	52,299	3,304	14,201	33,277	25,219	10,794	14,425	32,410	16,703	21,454	17,836	3,618	12,692	9,487	2,873	2,318	14.3	
27	57,054	3,360	16,459	37,235	28,537	11,933	16,604	35,547	18,641	24,497	20,303	4,194	13,710	10,231	3,416	2,872	14.3	
計	395,932	22,323	130,872	241,220	193,184	81,651	111,533	115,314	41,800	218,284	196,556	21,728	94,010	58,937	25,454	13,874	-	

※1人で2つ以上の疾患を有する場合があるため、要医療と要医療内訳の計は一致しない。

※要医療はすでに治療継続中も含む。

※平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

注1) 貧血検査と腎機能検査は、市町村が実施対象者を選択するため全数ではない。

3 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	計	平成27年度			計	平成26年度		
		札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
胃	5,001	3,044	1,298	659	5,697	3,052	1,971	674
子 宮	1,817	1,298	289	230	2,127	1,535	356	236
乳	1,405	403	993	9	1,521	443	1,056	22
肺	871	293	476	102	1,039	319	595	125
大 腸	2,123	1,598	215	310	2,155	1,343	504	308
合 計	11,217	6,636	3,271	1,310	12,539	6,692	4,482	1,365

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別		計	平成27年度			計	平成26年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		651	266	184	201	737	266	267	204
精検受診者数		5,001	3,044	1,298	659	5,697	3,052	1,971	674
延 べ 内 訳	X線直接撮影	76	27	0	49	144	47	12	85
	内 視 鏡	5,006	3,078	1,314	614	6,076	3,068	2,405	603
	組 織 診	1,076	782	248	46	1,310	882	360	68
発 見 が ん		65(5)	47(3)	11(1)	7(1)	93(7)	44(5)	33(2)	16(0)

() はその他のがんで別掲。

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別		計	平成27年度			計	平成26年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		515	204	263	48	484	203	234	47
精検受診者数		1,817	1,298	289	230	2,127	1,535	356	236
延べ内訳	再検査(細胞診)	2,071	1,467	292	312	2,425	1,811	319	295
	頸 部 組 織 診	279	154	93	32	354	213	100	41
	体 部 組 織 診	18	8	9	1	16	7	9	0
超 音 波		1,473	1,033	268	172	1,561	1,103	284	174
HPVウイルス		398	164	207	27	501	217	261	23
発 見 が ん		34	21	7	6	35	19	9	7

(3) 乳がん

センター別 部位別		計	平成27年度			計	平成26年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		505	246	251	8	548	263	263	22
精検受診者数		1,405	403	993	9	1,521	443	1,056	22
延べ内訳	X線撮影	1,110	340	767	3	1,172	358	809	5
	超音波	1,488	429	1,052	7	1,646	504	1,123	19
	細胞診	122	0	122	0	126	0	126	0
	触診再検査	955	295	657	3	964	261	703	0
発見がん		123	22	75	26	136	42	84	10

(4) 肺がん

センター別 部位別		計	平成27年度			計	平成26年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		215	47	92	76	236	49	100	87
精検受診者数		871	293	476	102	1,039	319	595	125
延べ内訳	X線直接撮影	687	34	577	76	878	35	745	98
	C T	1,013	333	577	103	1,246	376	745	125
	喀痰細胞診	7	2	5	0	2	0	2	0
発見がん		23(1)	11(0)	9(0)	3(1)	31(1)	19(1)	11(0)	1(0)

() はその他がんで別掲。

(5) 大腸がん

センター別 部位別		計	平成27年度			計	平成26年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		491	236	85	170	518	151	206	161
精検受診者数		2,123	1,598	215	310	2,155	1,343	504	308
延べ内訳	X線注腸撮影	5	0	0	5	23	3	1	19
	内視鏡	2,121	1,598	215	308	2,150	1,350	504	296
	組織診	143	29	3	111	238	26	41	171
発見がん		80(1)	54(0)	10(0)	16(1)	91(0)	53(0)	23(0)	15(0)

() はその他がんで別掲。

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～平成27年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
45～22	184,951	3,185(250)	20,887	9,618	46,711	2,324	20,914	13,535	67,777
23	3,692	52(19)	787	126	831	27	1,051	577	241
24	3,763	50(9)	787	116	818	20	1,161	604	207
25	3,512	55(16)	826	115	563	17	1,407	394	135
26	3,052	44(10)	868	78	517	8	1,203	236	98
27	3,078	50(3)	766	57	461	38	1,422	168	116
計	202,048	3,436(307)	24,921	10,110	49,901	2,434	27,158	15,514	68,574

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成27年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
56～22	76,143	1,330(215)	12,556	2,984	12,291	1,037	18,205	3,438	24,302
23	1,522	52(16)	213	21	196	34	348	185	473
24	1,669	47(5)	241	34	245	29	472	162	439
25	1,762	30(3)	218	22	185	25	656	194	432
26	1,971	33(2)	254	25	194	39	858	220	348
27	1,298	11(2)	168	10	104	12	771	139	83
計	84,365	1,503(243)	13,650	3,096	13,215	1,176	21,310	4,338	26,077

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成27年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
60～22	33,250	549(71)	4,123	1,266	4,871	528	11,124	3,240	7,549
23	824	10(1)	111	16	75	2	395	154	61
24	735	14(2)	104	18	69	3	352	125	50
25	719	14(1)	87	27	50	4	368	128	41
26	674	16(5)	89	15	54	1	345	110	44
27	659	7(1)	79	9	39	3	379	92	51
計	36,861	610(81)	4,593	1,351	5,158	541	12,963	3,849	7,796

注) () 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成27年度は、札幌 608人、旭川 979人、釧路541人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成27年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			50(19)	42(14)	8(5)	43(18)	35(14)	8(4)	7(1)	6(1)	1(0)
手術施行	計		50(19)	42(14)	8(5)	43(18)	35(14)	8(4)	7(1)	6(1)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	26(14)	22(11)	4(3)	24(14)	20(11)	4(3)	2(1)	2(1)	0(0)
		開 腹 手 術	5(1)	4(0)	1(1)	5(0)	4(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		4(0)	3(0)	1(0)	4(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		15(4)	13(3)	2(1)	10(4)	8(3)	2(1)	5(0)	4(0)	1(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成27年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			11(2)	10(2)	1(0)	4(0)	4(0)	0(0)	7(2)	6(2)	1(0)
手術施行	計		11(2)	10(2)	1(0)	4(0)	4(0)	0(0)	7(2)	6(2)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	7(2)	6(2)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	6(2)	5(2)	1(0)
		開 腹 手 術	3(0)	3(0)	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

平成27年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			7(1)	5(1)	2(0)	5(1)	3(1)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術施行	計		7(1)	5(1)	2(0)	5(1)	3(1)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	3(1)	3(1)	0(0)	2(1)	2(1)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開 腹 手 術	3(0)	2(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～平成27年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～22	52,740	1,718(22)	452	50	23,021	2,361	25,138
23	1,965	61(5)	18	4	1,081	85	716
24	1,834	57(2)	21	3	1,067	99	587
25	1,731	45(4)	21	2	1,043	152	468
26	1,350	53(6)	15	2	883	77	320
27	1,596	54(2)	13	1	1,008	131	389
計	61,216	1,988(41)	540	62	28,103	2,905	27,618

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成27年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～22	17,322	633(35)	235	4	10,236	1,182	5,032
23	546	28(0)	6	0	353	93	66
24	590	37(1)	6	0	359	116	72
25	601	27(1)	9	0	395	75	95
26	504	23(2)	6	0	340	47	88
27	215	10(0)	2	0	131	44	28
計	19,778	758(39)	264	4	11,814	1,557	5,381

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成27年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
60～22	11,387	328(13)	45	12	6,715	200	4,087
23	373	11(3)	2	0	209	0	151
24	315	19(1)	2	0	178	0	116
25	335	20(0)	1	0	176	3	135
26	308	15(1)	4	1	172	2	114
27	310	16(1)	2	0	153	2	137
計	13,028	409(19)	56	13	7,603	207	4,740

注) 精検数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。
 (平成27年度は、札幌 581人、旭川 84人、釧路 162人)
 () 内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成27年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			54(2)	36(1)	18(1)	53(2)	35(1)	18(1)	1(0)	0(0)	1(0)
手術 施行	計		54(2)	36(1)	18(1)	53(2)	35(1)	18(1)	1(0)	0(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	28(2)	20(1)	8(1)	23(2)	17(1)	6(1)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	13(0)	7(0)	6(0)	17(0)	10(0)	7(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		4(0)	3(0)	1(0)	4(0)	3(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	調 査 中		9(0)	6(0)	3(0)	9(0)	5(0)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成27年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			10(0)	6(0)	4(0)	8(0)	4(0)	4(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術 施行	計		10(0)	6(0)	4(0)	8(0)	4(0)	4(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	6(0)	4(0)	2(0)	5(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開 腹 手 術	3(0)	2(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

平成27年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			16(1)	11(1)	5(0)	14(1)	9(1)	5(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術 施行	計		16(1)	11(1)	5(0)	14(1)	9(1)	5(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	13(1)	10(1)	3(0)	11(1)	8(1)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)
		開 腹 手 術	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

(5) 子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

平成27年度

年齢	受診者数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果										精検後
		扁平上皮系						腺細胞系				異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	上皮内がん	浸潤がん	腺がん	体部がん	他のがん	擬陽性	経過観察		
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig															
総数																										
総数	2,071	1,487	290	123	42	116	0	12	0	1	0	338	1,522	279	18	24	226	19	6	2	8	0	2	184		
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20～24	24	16	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	6	0	0	5	0	0	0	0	0	1	6		
25～29	61	41	10	4	0	6	0	0	0	0	0	2	51	15	0	0	14	0	0	0	0	0	0	10		
30～34	88	48	19	14	2	5	0	0	0	0	0	3	74	18	0	0	17	1	0	0	0	0	0	10		
35～39	176	103	34	27	2	9	0	1	0	0	0	18	132	37	0	1	31	3	3	0	0	0	0	20		
40～44	297	196	50	22	6	20	0	2	0	1	0	14	222	65	1	6	53	7	2	1	1	0	0	33		
45～49	251	159	45	20	6	17	0	4	0	0	0	22	200	44	1	4	34	2	0	1	0	0	0	32		
50～54	229	170	24	12	7	14	0	2	0	0	0	47	158	31	1	3	28	1	0	0	1	0	0	22		
55～59	211	169	29	4	0	9	0	0	0	0	0	35	162	11	5	4	9	1	0	0	1	0	0	9		
60～64	192	157	17	7	2	8	0	1	0	0	0	54	128	15	2	0	11	1	1	0	1	0	0	10		
65～69	243	200	26	4	5	7	0	1	0	0	0	60	174	17	3	1	10	1	0	0	2	0	1	13		
70～74	187	144	14	5	10	13	0	1	0	0	0	53	119	15	5	5	11	1	0	0	2	0	0	15		
75～79	85	65	11	1	2	6	0	0	0	0	0	23	61	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3		
80～	27	19	6	0	0	2	0	0	0	0	0	7	20	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1		
札幌がん検診センター																										
総数	1,467	1,052	216	69	29	93	0	8	0	0	0	279	1,086	154	8	1	127	16	1	2	5	0	0	111		
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20～24	17	12	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3		
25～29	47	30	9	2	0	6	0	0	0	0	0	0	44	9	0	0	8	0	0	0	0	0	0	7		
30～34	66	33	17	9	2	5	0	0	0	0	0	1	58	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	7		
35～39	108	65	24	10	1	8	0	0	0	0	0	9	94	12	0	0	10	3	0	0	0	0	0	7		
40～44	197	129	35	14	2	15	0	2	0	0	0	10	154	35	0	0	30	7	1	1	0	0	0	21		
45～49	165	98	32	15	4	14	0	2	0	0	0	18	132	25	0	0	19	1	0	1	0	0	0	19		
50～54	163	124	19	5	5	8	0	2	0	0	0	41	112	18	0	0	17	1	0	0	1	0	0	13		
55～59	146	115	21	3	0	7	0	0	0	0	0	26	114	3	2	0	3	0	0	0	1	0	0	3		
60～64	145	119	14	4	1	6	0	1	0	0	0	49	91	9	2	0	6	1	0	0	1	0	0	6		
65～69	183	154	17	2	4	5	0	1	0	0	0	54	123	14	2	1	8	1	0	0	1	0	0	11		
70～74	144	109	11	2	9	13	0	0	0	0	0	46	88	10	2	0	9	1	0	0	1	0	0	10		
75～79	69	52	9	1	1	6	0	0	0	0	0	19	49	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3		
80～	17	12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6	11	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1		
旭川がん検診センター																										
総数	292	184	43	37	6	19	0	3	0	0	0	56	143	93	9	19	76	1	4	0	2	0	0	51		
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20～24	5	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2		
25～29	10	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2		
30～34	11	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	5	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	3		
35～39	43	22	5	13	1	1	0	1	0	0	0	9	15	19	0	1	16	0	2	0	0	0	0	10		
40～44	37	21	9	2	1	4	0	0	0	0	0	4	12	21	0	4	16	0	1	0	0	0	0	5		
45～49	33	20	5	4	1	2	0	1	0	0	0	4	16	13	1	2	12	0	0	0	0	0	0	8		
50～54	37	21	3	7	1	5	0	0	0	0	0	6	19	12	1	3	10	0	0	0	0	0	0	8		
55～59	27	21	3	1	0	2	0	0	0	0	0	9	11	7	3	4	5	1	0	0	0	0	0	6		
60～64	15	10	3	1	0	1	0	0	0	0	0	4	8	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1		
65～69	27	19	4	2	0	2	0	0	0	0	0	5	20	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1		
70～74	28	20	3	3	1	0	0	1	0	0	0	6	17	5	3	5	2	0	0	0	1	0	0	5		
75～79	12	9	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
80～	7	4	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
釧路がん検診センター																										
総数	312	251	31	17	7	4	0	1	0	1	0	3	293	32	1	4	23	2	1	0	1	0	2	22		
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20～24	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1		
25～29	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
30～34	11	8	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0		
35～39	25	16	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6	0	0	5	0	1	0	0	0	0	3		
40～44	63	46	6	6	3	1	0	0	0	1	0	0	56	9	1	2	7	0	0	0	1	0	0	7		
45～49	53	41	8	1	1	1	0	1	0	0	0	0	52	6	0	2	3	1	0	0	0	0	0	5		
50～54	29	25	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	27	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
55～59	38	33	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
60～64	32	28	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	29	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3		
65～69	33	27	5	0	1	0	0	0	0	0	0	1	31	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
70～74	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
75～79	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
80～	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※頸部と体部の両方精検指示があったもの1名。

※精検指示と結果は他施設で実施した方がいるため一致しない。

※平成26年度より、精検者の集検時におけるベセスダ分類は計上されていない。なお、健康診査受診者の精検結果は含まれる。

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～平成27年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
総 数										
45～22	827,646 (16,464)	669,179 (3,555)	78,964 (4,296)	5,112 (1,303)	5,671 (1,490)	29,159 (1,675)	6,514 (1,052)	134 (8)	9,638 (1,914)	23,275 (1,171)
23	8,915 (650)	7,250 (27)	394 (207)	78 (47)	71 (49)	449 (60)	252 (75)	2 (0)	292 (177)	127 (8)
24	7,803 (185)	6,852 (27)	162 (28)	31 (13)	27 (18)	355 (25)	156 (37)	0 (0)	75 (33)	145 (4)
25	7,296 (80)	6,592 (19)	117 (1)	13 (4)	10 (5)	288 (17)	144 (32)	0 (0)	10 (1)	122 (1)
26	7,090 (56)	6,390 (9)	98 (4)	21 (3)	22 (1)	300 (8)	130 (28)	0 (0)	33 (2)	96 (1)
27	6,674 (65)	5,992 (7)	97 (1)	27 (1)	16 (5)	250 (7)	197 (40)	0 (0)	32 (3)	63 (1)
計	865,424 (17,500)	702,255 (3,644)	79,832 (4,537)	5,282 (1,371)	5,817 (1,568)	30,801 (1,792)	7,393 (1,264)	136 (8)	10,080 (2,130)	23,828 (1,186)
札 幌										
45～22	435,232 (11,481)	356,048 (2,411)	36,072 (2,695)	2,259 (932)	3,032 (1,016)	10,014 (1,139)	3,012 (754)	105 (6)	5,444 (1,614)	19,246 (914)
23	2,898 (608)	1,692 (20)	277 (205)	72 (47)	68 (49)	381 (60)	82 (47)	2 (0)	290 (177)	34 (3)
24	2,187 (140)	1,626 (17)	68 (28)	26 (13)	26 (17)	295 (25)	17 (6)	0 (0)	73 (33)	56 (1)
25	1,733 (37)	1,410 (10)	27 (0)	7 (4)	6 (4)	228 (17)	4 (0)	0 (0)	10 (1)	41 (1)
26	1,329 (19)	974 (2)	38 (4)	7 (3)	13 (1)	255 (8)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	15 (0)
27	1,188 (20)	888 (3)	22 (1)	17 (1)	9 (5)	212 (7)	3 (0)	0 (0)	29 (3)	8 (0)
計	444,567 (12,305)	362,638 (2,463)	36,504 (2,933)	2,388 (1,000)	3,154 (1,092)	11,385 (1,256)	3,118 (807)	107 (6)	5,873 (1,829)	19,400 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～平成27年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
旭 川										
6～22	324,914 (4,318)	252,435 (847)	39,878 (1,490)	2,718 (342)	2,402 (428)	18,015 (483)	3,359 (288)	21 (2)	3,852 (277)	2,234 (161)
23	4,935 (37)	4,548 (6)	114 (2)	6 (0)	3 (0)	68 (0)	170 (28)	0 (0)	2 (0)	24 (1)
24	4,533 (42)	4,200 (8)	94 (0)	5 (0)	1 (1)	60 (0)	139 (31)	0 (0)	2 (0)	32 (2)
25	4,502 (42)	4,179 (8)	90 (1)	6 (0)	4 (1)	60 (0)	140 (32)	0 (0)	0 (0)	23 (0)
26	4,768 (35)	4,495 (6)	60 (0)	14 (0)	5 (0)	45 (0)	130 (28)	0 (0)	6 (1)	13 (0)
27	4,565 (45)	4,220 (4)	75 (0)	10 (0)	7 (0)	38 (0)	194 (40)	0 (0)	3 (0)	18 (1)
計	348,217 (4,519)	274,077 (879)	40,311 (1,493)	2,759 (342)	2,422 (430)	18,286 (483)	4,132 (447)	21 (2)	3,865 (278)	2,344 (165)
釧 路										
60～22	67,500 (665)	60,696 (297)	3,014 (111)	135 (29)	237 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	1,795 (96)
23	1,082 (5)	1,010 (1)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	69 (4)
24	1,083 (3)	1,026 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	57 (1)
25	1,061 (1)	1,003 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	58 (0)
26	993 (2)	921 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	68 (1)
27	921 (0)	884 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (0)
計	72,640 (676)	65,540 (308)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,084 (102)

注) () 内数字は陽性の再掲。

4 発見がんの実測生存率

表1 発見胃がんの実測生存率

		5年	10年	15年
早期	M	99.1	97.8	96.6
	S M	96.4	94.2	92.6
	M + S M	97.9	96.2	94.9
進行	p m	87.5	83.7	80.4
	P M	65.3	58.6	58.3
	S	40.3	34.3	32.8
	M P ~ S	63.6	57.9	56.3
	M ~ S の計	85.5	82.3	80.8
	早期計	97.9	96.2	94.9
	進行計	61.6	56.1	54.5
	区分不能	53.2	35.5	35.5
	総計	81.8	78.4	76.9

対象：昭和55年から平成17年度までの発見胃がん患者 7,705例

M	2,604例
S M	2,007例
M P	774例
S S	961例
S	890例
早期	4,613例（深達度不明2例含む）
進行	2,725例（深達度不明100例含む）
区分不能	14例
O P 未施行	353例

算定期間：平成19年3月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算定法：生命表方式

注：O P 後1年以内の者については、調査の対象としない。

表2 発見子宮がんの実測生存率

		5年	10年	15年
早期	O	100.0	99.8	99.8
	I a	99.7	99.4	99.3
	計	99.9	99.7	99.7
進行	I b	97.5	96.0	96.0
	II	88.4	85.4	85.4
	III～	70.2	65.7	65.7
	計	94.2	92.3	92.3
区 分 不 能		81.8	81.8	81.8
頸 が ん 計		99.1	98.7	98.6
その他のがん		91.5	89.7	89.7
総 計		97.4	96.6	96.4

対象：昭和41年度から17年度までの発見子宮がん患者 5,792例

O 期	3,279例
I a 期	1,168例
I b 期	458例
II 期	141例
III 期	27例
区分不能	33例
その他のがん	452例
O P 未施行	234例

算定期間：平成19年3月31日現在で生存状況を追跡調査により把握。

計算方法：生命表方式

注：O P 後1年以内の者については、調査の対象としていない。

表3 発見乳がん実測生存率

		5年	10年	15年
早期	T I S	100.0	100.0	100.0
	0	100.0	100.0	100.0
	I	98.3	96.5	95.5
	計	98.6	97.0	96.1
進行	II	93.7	86.5	82.8
	III	77.5	65.9	61.0
	III a	80.5	70.3	66.0
	III b	71.1	54.2	48.8
	IV	40.5	36.7	—
	計	90.4	82.5	78.5
総 計		95.1	90.8	88.9

対象：昭和53年から平成17年度までの発見乳がん患者 4,716例

T I S	345例
0	60例
I	2,087例
II	1,838例
III	46例
III a	172例
III b	76例
IV	45例
区分不明	6例
O P 未施行	41例

算定期間：平成19年3月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算方法：生命表方式

注：O P 後1年以内の者については、調査の対象としない。

表4 発見肺がんの実測生存率

			3 年	5 年	10年	15年
手術施行	病期	O	100.0	87.5	87.5	87.5
		I	93.8	87.6	79.6	71.6
		Ⅱ	66.6	52.7	34.8	30.5
		Ⅲ A	52.0	35.7	21.9	21.9
		Ⅲ B	35.7	17.8	6.0	—
		Ⅳ	43.3	33.9	22.6	22.6
	組 型 織	扁平	78.6	67.6	56.2	52.3
		腺	85.9	77.1	66.2	61.9
		小細	44.3	44.3	37.5	37.5
		大細	57.0	52.7	42.1	24.6
總 計		64.6	55.3	46.4	41.3	

対象：昭和51年度から平成17年度までの発見肺がん患者 1,355例

0	10例	組織型扁平上皮	229例
I	646例	腺	643例
II	70例	小細胞	24例
III A	137例	大細胞	31例
III B	26例	その他	18例
IV	29例		
不明	27例		
OP未施行	410例		

算定時期：平成19年3月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算方法：生命表方式

注：OP後1年以内の者については、調査の対象としていない。

表5 発見大腸がん実測生存率

		5年	10年	15年
早期	m	99.8	98.8	98.6
	C I A（再掲）	99.8	98.8	98.6
	s m	98.2	94.9	94.1
	計	99.3	97.7	97.3
進行期	m p	95.6	92.3	91.5
	s s ・ a l	88.9	82.8	82.1
	s e ・ a 2	61.8	58.4	57.4
	s i ・ a i	53.8	53.8	53.8
	計	85.6	81.0	80.2
区 分 不 能		52.5	52.5	—
総 計		94.6	92.2	91.6

対象：昭和62年から平成16年度までの発見大腸がん患者 5,218例

m 2,528例
 （再掲C I A 1,794例）
 s m 992例
 m p 495例
 s s ・ a l 848例
 s e ・ a 2 247例
 s i ・ a i 59例
 区分不能 14例
 O P 未施行 35例

算定期間：平成19年3月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算定法：生命表方式

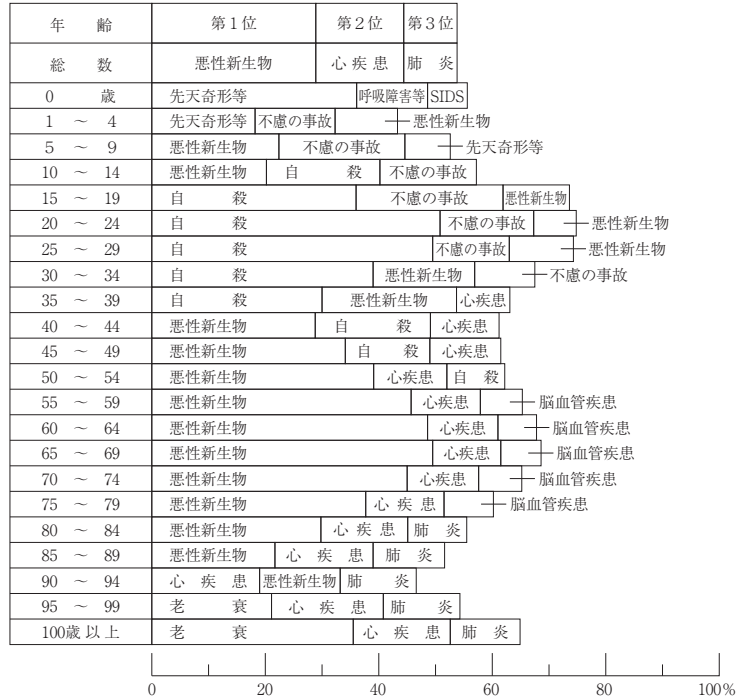
注：O P 後1年以内の者については、調査の対象としない。

【参考資料】

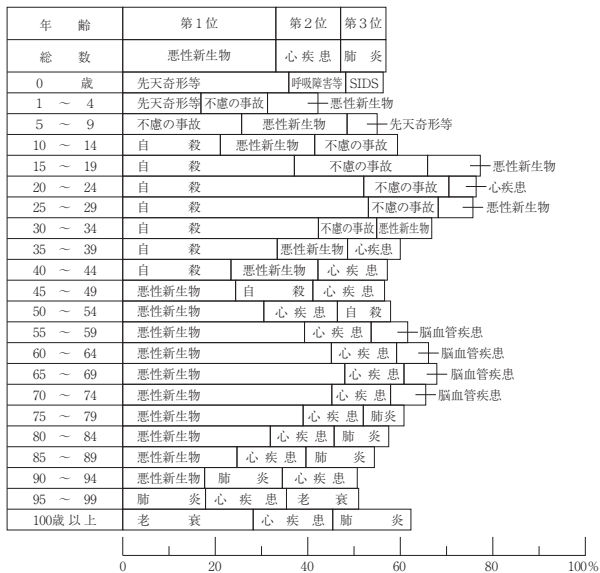
1 がん対策の背景

図1 性・年齢別にみた死因順位
平成26年 全国

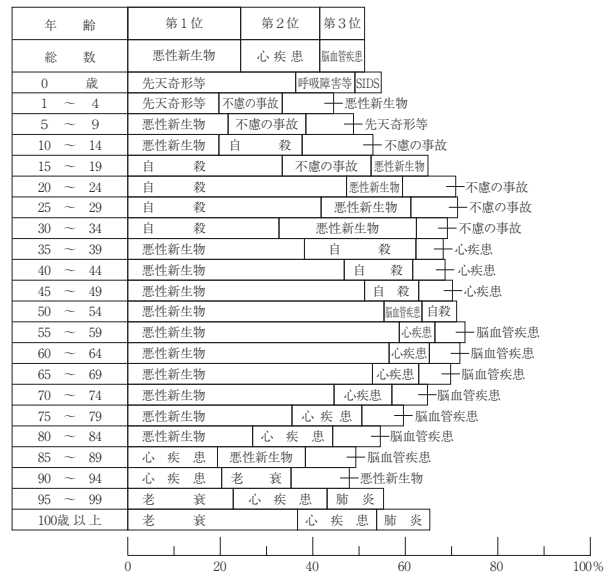
男女計



男



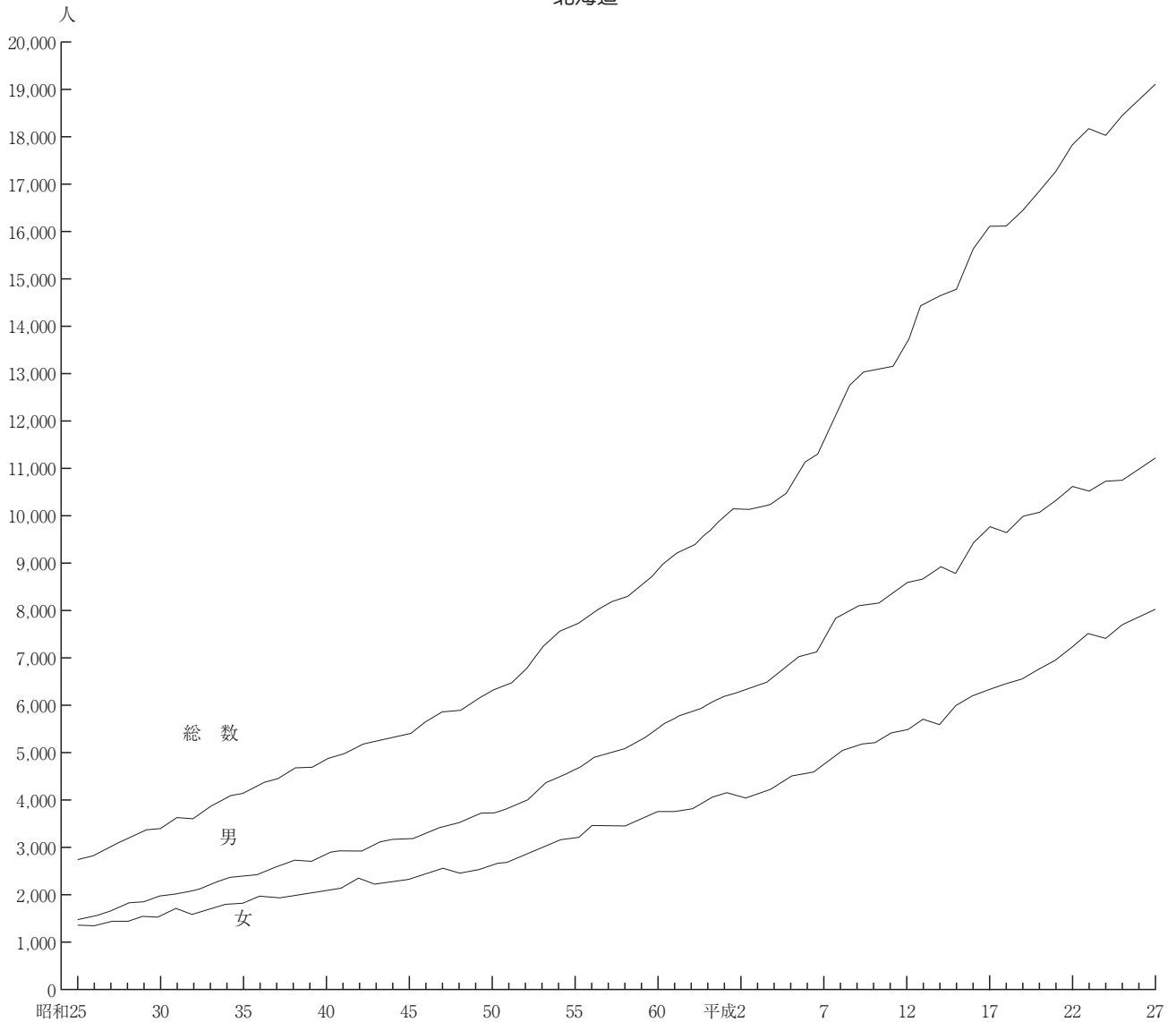
女



資料：平成26年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5. 17表

がんによる死亡は、全ての死因において昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代後半から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
平成27年

男 性	11,072
女 性	8,026
総 数	19,098

資料：「平成27年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様にがんによる死亡者数が増え続けている。

増加の主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられるが、本道のがんによる年齢調整死亡率は、3年連続で全国ワースト2位である。がん検診の受診率がいずれも全国ワースト10位以内であり、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因となっている。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北 海 道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭 40	昭 60	平 17	平27	全国27	昭40	昭60	平17	平27	全国27
総 数	4,863	9,096	16,133	19,098	370,346	94.0	159.9	287.8	354.9	291.4
食 道	181	357	597	594	11,739	3.5	6.3	10.7	11.0	9.2
胃	1,982	2,147	2,240	2,122	46,679	38.3	37.8	40.0	39.4	36.7
大 腸	268	928	2,186	2,557	49,699	5.2	16.3	39.0	47.5	39.1
肝 臓	357	832	1,328	1,256	28,889	6.9	14.6	23.7	23.3	22.7
膵 臓	181	624	1,357	1,890	31,866	3.5	11.0	24.2	35.1	25.1
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,170	74,378	8.6	25.6	57.2	77.5	58.5
乳 房	98	247	530	744	13,584	3.8	8.5	18.0	26.2	19.3
子 宮	311	231	229	312	6,429	12.0	7.9	7.8	11.0	9.3
白 血 病	187	256	314	380	8,631	3.6	4.5	5.6	7.1	6.8
そ の 他	855	2,019	4,147	5,065	98,331	16.5	35.5	74.0	94.1	77.4

資料：死亡数は「平成27年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は平成27年国勢調査

※乳がんは女性のみ計上

図3 がん死亡者の部位別割合
平成27年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
／	がん総数	11,072	／	がん総数	8,026
1位	気管、気管支及び肺	2,910	1位	気管、気管支及び肺	1,260
2位	胃	1,376	2位	大腸	1,236
3位	大腸	1,321	3位	膵臓	953
4位	膵臓	937	4位	胃	746
5位	肝及び肝内胆管	843	5位	乳房	744
6位	前立腺	591	6位	胆のう及び他の胆道	495
7位	食道	483	7位	肝及び肝内胆管	413
8位	胆のう及び他の胆道	462	8位	子宮	312
9位	悪性リンパ腫	332	9位	悪性リンパ腫	260
10位	口唇、口腔及び咽頭	264	10位	卵巣	234
11位	膀胱	259	11位	白血病	159
12位	白血病	221	12位	膀胱	138
／	その他	1,073	／	その他	1,076

資料：「平成27年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	胃	大	肝	膵
女 性	大	肺	胃	膵	乳

資料：「平成27年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いこと

があげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

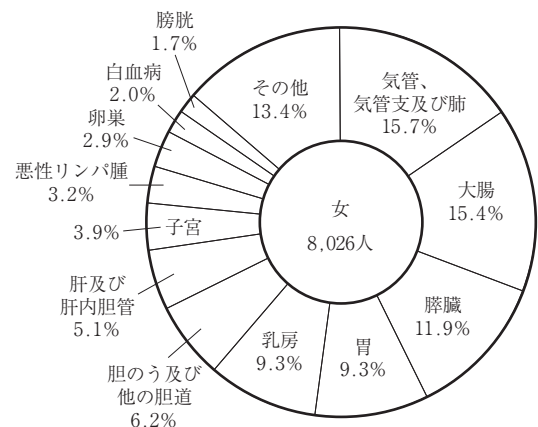
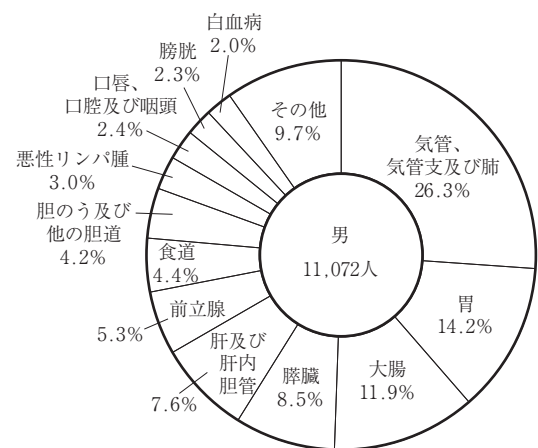
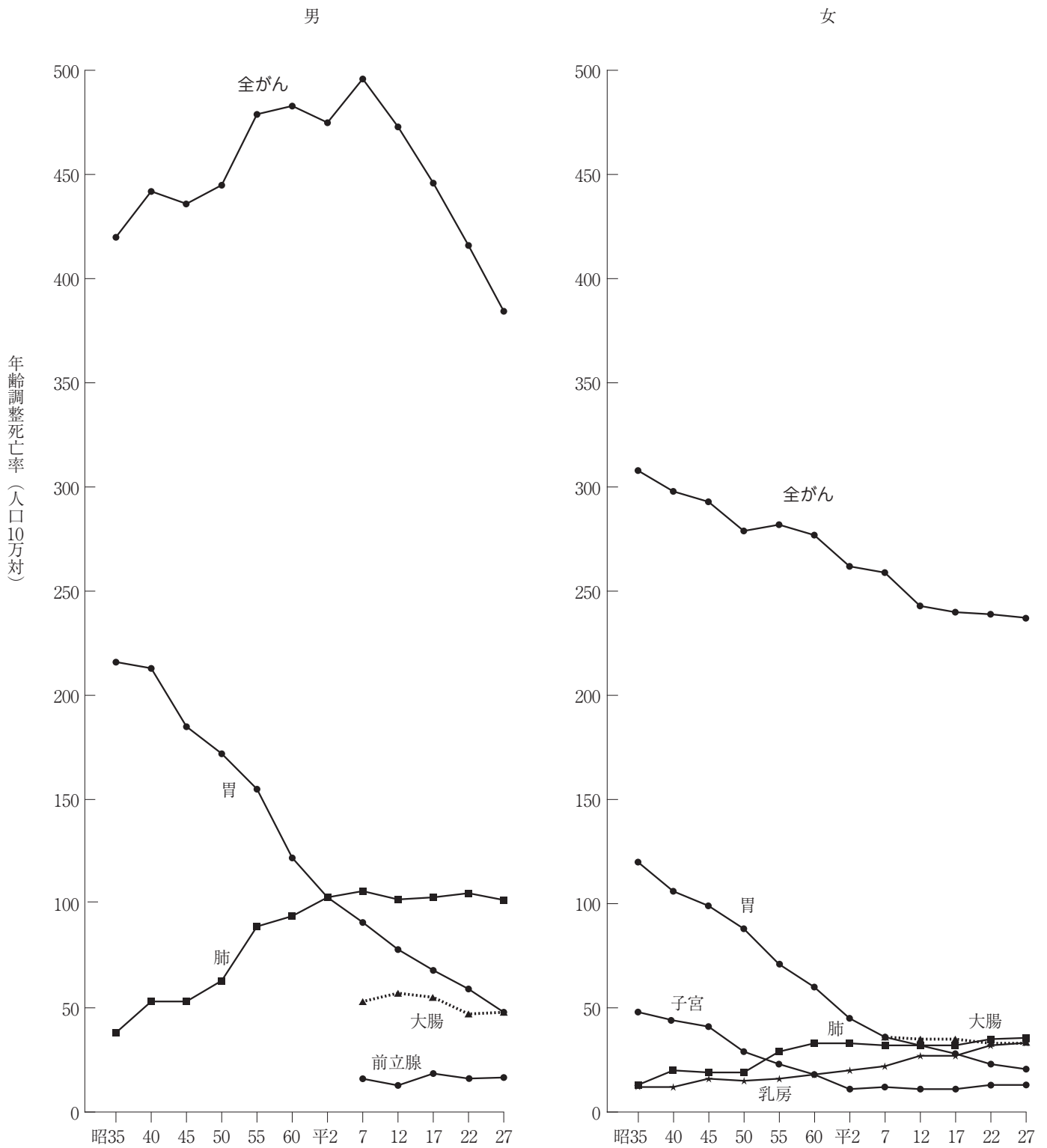


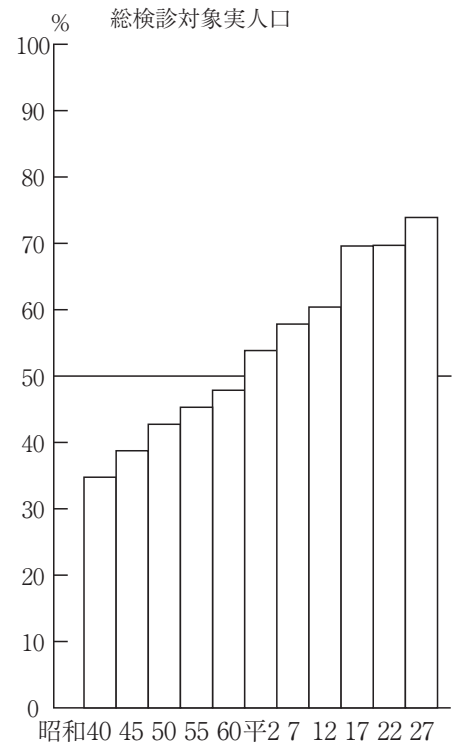
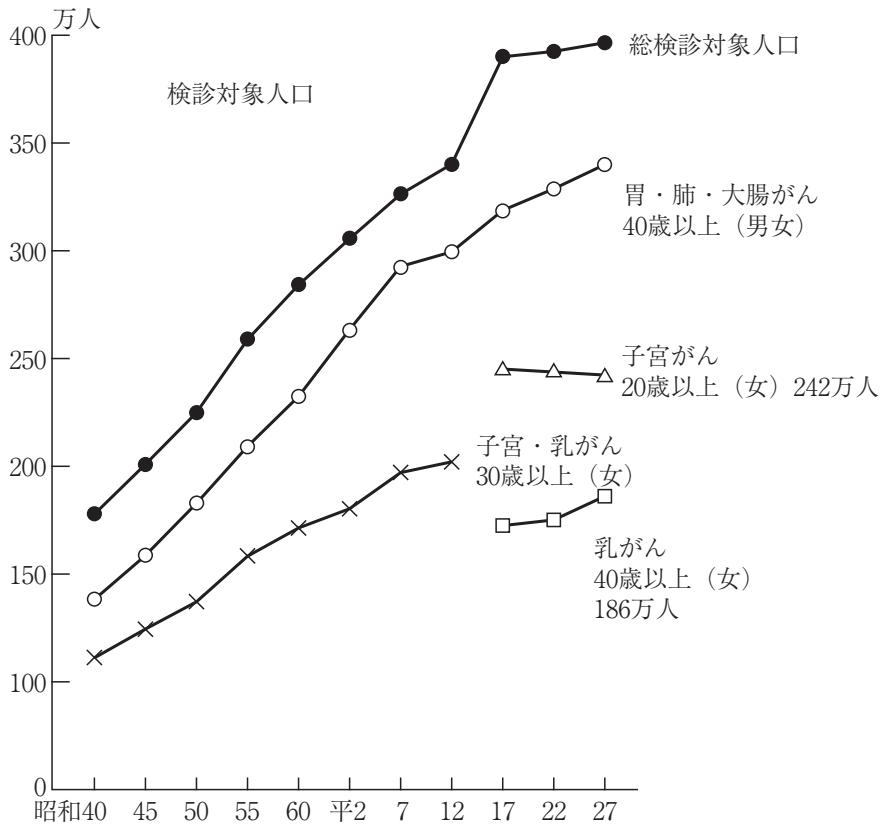
図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道



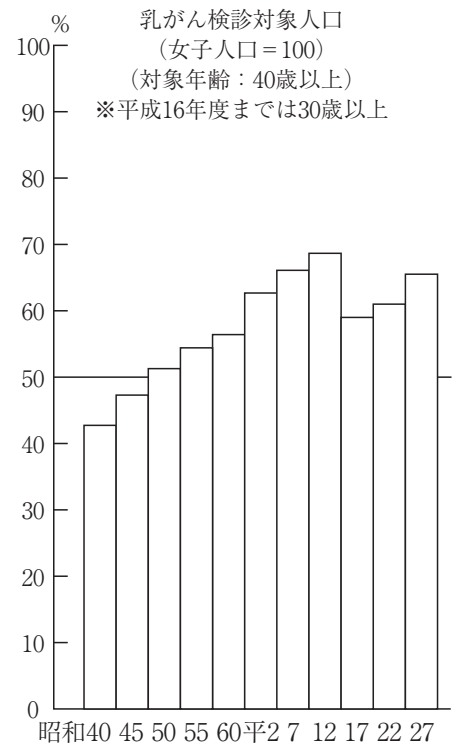
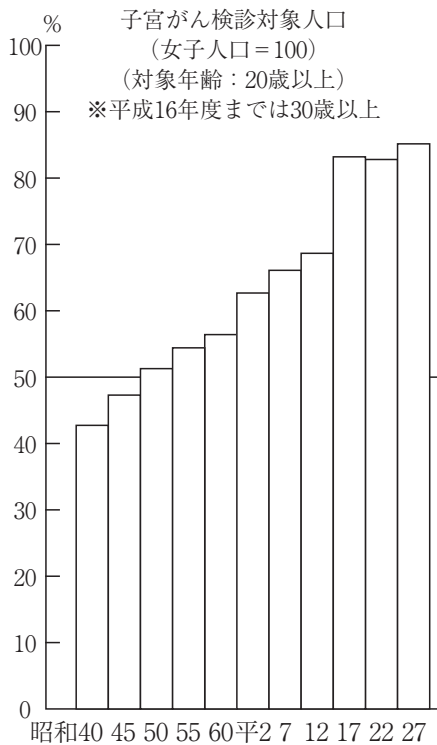
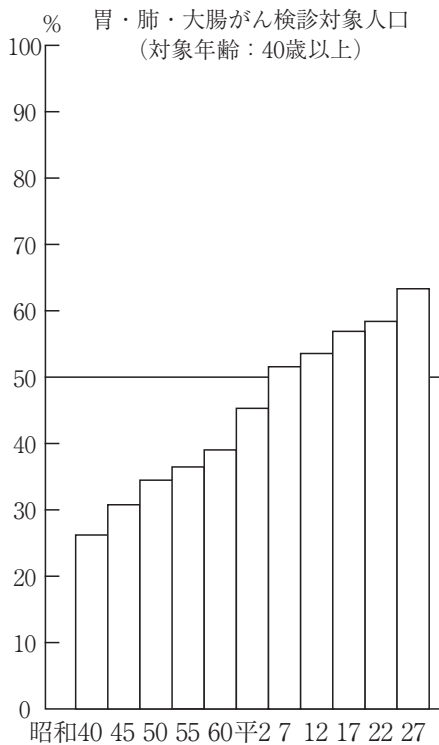
注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）

資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は国勢調査

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：平成27年国勢調査

２ 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：平成26年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診

平成26年度の対象者（北海道）は1,782,264人^{注)}で、受診数は162,663人、受診率は9.1%^{注)}であった。
このうち、当協会では115市町村において、検診車と各検診センターで103,731人に検診を実施した。
(受託実施率63.8%)

これに事業所分など10,084人を加え、総数113,815人に実施し、193名のがん（平成28年9月30日現在）を発見した。（うち早期がん132名、早期がん割合68.4%）

子宮がん検診

平成26年度の対象者（北海道）は1,379,613人^{注)}である。受診者数は平成26年度195,580人、平成25年度185,921人で、2年合計で381,501人となっている。ここから2年連続受診者数19,097人を除いた362,404人が直近2年間の受診者数であり、受診率は26.3%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成26・25年度ともに121市町村において、検診車と各検診センターで118,264人に検診を実施した。（受託実施率32.6%）

これに事業所分など15,163人を加え、総数133,427人に実施し、85名のがん（平成28年9月30日現在）を発見した。（うち上皮内がん52名）

乳がん検診

平成26年度の対象者（北海道）は1,115,529人^{注)}である。受診者数は平成26年度131,019人、平成25年度125,370人で、2年合計で256,389人となっている。ここから2年連続受診者数10,585人を除いた245,804人が直近2年間の受診者数であり、受診率は22.0%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成26年度は115市町村、平成25年度は114市町村において、検診車と各検診センターで121,616人に検診を実施した。（受託実施率49.5%）

これに事業所分など15,578人を加え、総数137,194人に実施し、299名のがん（平成28年9月30日現在）を発見した。（うち早期がん202名、早期がん割合67.6%）

肺がん検診

平成26年度の対象者（北海道）は1,777,634人^{注)}で、受診数は191,998人、受診率は10.8%^{注)}であった。
このうち、当協会では106市町村において、検診車と各検診センターで82,377人に検診を実施した。
(受託実施率42.9%)

これに事業所分など8,054人を加え、総数90,431人に実施し、85名のがん（平成28年9月30日現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、25市町村において、検診車と各検診センターで1,735人に検診を実施した。

これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など2,031人を加え、総数3,766人に実施し、11名のがん（平成28年9月30日現在）を発見した。

大腸がん検診

平成26年度の対象者（北海道）は1,784,712人^{注)}で、受診数は264,142人、受診率は14.8%^{注)}であった。
このうち、当協会では109市町村において、検診車と各検診センターで121,012人に検診を実施した。
（受託実施率45.8%）

これに事業所分など9,765人を加え、総数130,777人に実施し、445名のがん（平成28年9月30日現在）を発見した。（うち早期がん307名、69.0%）

注）地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定対象年齢は、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき、40歳から69歳まで（子宮がん検診は20歳から）となっているが、これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

法 人 名	公益財団法人北海道対がん協会
代 表 者 名	会 長 長 瀬 清
所 在 地	北海道札幌市東区北26条東14丁目 1 - 15
電 話 番 号	0 1 1 - 7 4 8 - 5 5 1 1
設 立 時 期	昭和 4 年 9 月 13 日
従 業 員 数	314名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職 種	札 幌	旭 川	釧 路	計
医 師	5	4	1	10
診療放射線技師	26	12	4	42
臨床検査技師	20	9	3	32
管理栄養士	1	0	2	3
保健 師	19	9	3	31
看 護 師	22	18	10	50
事 務 員	63	32	23	118
運 転 技 術 員	16	10	2	28
計	172	94	48	314

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診フィルムの読影（専門読影委員10名により実施）
- (2) 肺がん検診フィルムの読影（専門読影委員25名により実施）
- (3) 乳がん検診フィルム（SMG）の読影（専門読影委員33名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

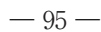
4 その他諸検査の実施

- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

平成28年10月1日現在



3-5 役員等名簿

平成28年10月1日現在

名誉会長	菊地浩吉	北海道対がん協会前会長
会長	長瀬清	北海道医師会会長
副会長	石子彭培	北海道国民健康保険団体連合会理事長
〃	小熊豊	北海道医師会副会長
〃	佐藤昇志	医療法人豊和会理事・先端医療センター長
〃	平田哲	旭川医科大学病院長・副学長
専務理事	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	山口由美子	北海道対がん協会センター長
〃	相澤信之	北海道対がん協会事務局長
理事	秋田弘俊	北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野教授
〃	磯部宏	KKR札幌医療センター病院長
〃	加藤淳二	札幌医科大学腫瘍・血液内科学講座教授
〃	近藤啓史	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター院長
〃	坂本直哉	北海道大学大学院医学研究科消化器内科学分野教授
〃	櫻木範明	北海道大学大学院医学研究科生殖内分泌・腫瘍学分野
〃	平田公一	JR札幌病院顧問札幌医科大学名誉教授
〃	矢上尚寿	北海道対がん協会前専務理事
〃	藤田博正	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
〃	松浦邦彦	北海道対がん協会釧路がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	佐竹啓一	税理士

参 与 評 議 員	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	畑 島 久 雄	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担
		川 上 敏 正	札幌市保健福祉局保健所健康企画担当部長
		谷 田 光 弘	旭川市保健所長
		柏 木 恭 美	釧路市こども保健部長
		大 場 久 夫	全国健康保険協会北海道支部支部長
		岸 不 盡 彌	東日本学園北海道医療大学理事
		齋 藤 芳 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
		竹 内 伸 仁	北海道薬剤師会会長
		谷 本 辰 美	北海道町村会常務理事
		傳 法 公 磨	藤女子大学名誉教授
		三 宅 浩 次	独立行政法人労働者健康安全機構 北海道産業保健総合支援センター所長

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭 和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭 和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭 和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭 和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭 和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭 和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭 和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭 和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭 和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭 和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭 和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭 和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭	和	54	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭	和	56	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭	和	57	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭	和	58	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭	和	59	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭	和	60	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭	和	61	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭	和	62	年	大腸がん検診を開始する。
平	成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平	成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平	成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平	成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平	成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平	成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平	成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平	成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平	成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平	成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平	成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平	成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平	成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平	成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平	成	26	年	2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「がん対策基金」を設立。当協会が事務局を担う。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成17年5月1日 制定

平成25年4月1日 改訂

公益財団法人 北海道対がん協会

会 長 長 瀬 清

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・ 胸部CT検査 ・ 前立腺がん検診 ・ 各がん検診の精密検査※ ・ 特定健康診査 ・ 定期健康診断 ・ 人間ドック ・ 生活習慣病予防健診 ・ 骨密度測定 ・ 内臓脂肪CT検査 ・ 腹部超音波検査
受 付 時 間	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	
	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	

札幌がん検診センター 〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話(予約)(011) 748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・ 胸部肺CT検査 ・ 前立腺がん検診 ・ 各がん検診の精密検査※ ・ 特定健康診査 ・ 定期健康診断 ・ 人間ドック ・ 生活習慣病予防健診 ・ 骨密度測定
受 付 時 間	8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	月 ～ 土 8:30 ～ 11:00	
		月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 14:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	月 ～ 金 13:00 ～ 15:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話(代)(0166) 53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月 ～ 木	毎 日	毎 日	・ 前立腺がん検診 ・ 各がん検診の精密検査※ ・ 特定健康診査 ・ 定期健康診断 ・ 人間ドック ・ 生活習慣病予防健診 ・ 骨密度測定
受 付 時 間	9:00 ～ 11:00	月 9:00 ～ 10:00	9:00 ～ 13:00	月 ～ 土 9:00 ～ 11:00	月 ～ 金 9:00 ～ 16:00	
		水・木 9:00 ～ 13:00		月 ～ 金 13:00 ～ 16:00	土 9:00 ～ 11:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話(代)(0154) 37-3370

※受診の際は、ご希望の日時と科目を、お電話でご予約下さい。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 がん対策基金のご案内



北海道がん対策基金への 募金をお願いします！

～がんに負けない社会の実現を目指して～



「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。

北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金の方法 ※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

- 口座への振り込みによる募金
- 協賛商品の購入による募金
- イベント会場での募金
- 直接寄付・募金

振込口座 次の銀行口座で受け付けております。

北洋銀行 札幌南支店
(口座番号)普通 4591650
(口座名)北海道がん対策基金

北海道銀行 札幌駅前支店
(口座番号)普通1877125
(口座名)北海道がん対策基金

ゆうちょ銀行
(口座番号)02740-9-102016
(口座名)北海道がん対策基金

※北洋銀行、北海道銀行については、本・支店に備え付けの振込用紙により窓口で振り込んだ場合及び現金自動預け払い機(ATM)で振り込んだ場合、振込手数料が無料となります。

クレジットカード募金 当協会ホームページからご利用いただけます。<http://hokkaido-taigan.jp/kikin07/>

基金のしくみ



♥ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援

患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用

※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間（ピア）として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援

小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発

がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策

がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用



募金状況(H27.2月～H28.9月末)

区 分	件 数	金 額
個 人	42 件	4,096,692 円
企 業・団 体 等	136 件	7,047,050 円
自 販 機	34 件	988,314 円
常 設 募 金 箱	18 件	48,773 円
臨 時 募 金 箱	15 件	133,436 円
これまでの募金総額		12,314,265 円

基金支援自販機設置状況（H28.9月末）

番号	設置月日	設 置 場 所	住 所
1	H27.2.10	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
2	H27.2.10	公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市東区
3	H27.2.10	一般社団法人 北海道医師会	札幌市中央区
4	H27.4.3	勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市西区
5	H27.5.1	次世代ゴルフフィットネス AQUA札幌	札幌市中央区
6	H27.5.1	日本データサービス株式会社	札幌市東区
7	H27.5.28	ANNEX1ビル1F	札幌市中央区
8	H27.5.29	山崎製パン株式会社 札幌工場	恵庭市
9	H27.5.29	ノルデン薬局北栄店	札幌市東区
10	H27.6.1	株式会社モロオ 滝川	滝川市
11	H27.6.1	株式会社モロオ 函館	函館市
12	H27.6.1	株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市中央区
13	H27.6.1	株式会社モロオ ANNEX 5F	札幌市中央区
14	H27.6.1	株式会社モロオ 小樽	小樽市
15	H27.6.1	株式会社モロオ コールセンター	札幌市中央区
16	H27.6.1	株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市清田区
17	H27.6.1	株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
18	H27.6.1	株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
19	H27.6.1	株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
20	H27.6.1	株式会社モロオ 大谷地物流	札幌市白石区
21	H27.6.1	株式会社モロオ 発寒物流2F	札幌市西区
22	H27.6.1	株式会社モロオ 発寒物流3F	札幌市西区
23	H27.6.1	株式会社モロオ 旭川	旭川市
24	H27.6.1	株式会社モロオ 釧路	釧路市
25	H27.6.1	株式会社モロオ 北見	北見市
26	H27.6.1	株式会社モロオ 帯広	帯広市
27	H27.7.22	竹山札幌業務センター	札幌市白石区
28	H27.7.31	徳州会 札幌病院	札幌市厚別区
29	H27.8.24	日鋼記念病院	室蘭市
30	H27.8.29	室蘭保健センター	室蘭市
31	H27.8.28	株式会社ほくやく	札幌市中央区
32	H27.8.31	株式会社 マルベリー	札幌市豊平区
33	H27.9.15	太平洋セメント	北斗市
34	H27.9.30	株式会社マルベリー さわやかセンター札幌	札幌市東区
35	H27.10.5	社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院	札幌市白石区
36	H27.10.29	株式会社北谷組 滝川事務所	滝川市
37	H27.11.25	㈲タック・コーポレーション(美園7・4メディカル)	札幌市豊平区
38	H27.11.26	株式会社ムトウ	札幌市北区
39	H27.11.27	パルス薬局東室蘭店	室蘭市
40	H28.1.7	一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市中央区

番号	設置月日	設 置 場 所	住 所
41	H28.1.7	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市東区
42	H28.2.8	北海道庁本庁舎13F	札幌市中央区
43	H28.2.25	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
44	H28.2.29	株式会社竹山 石狩商品管理センター	石狩市
45	H28.2.29	㈱マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
46	H28.4.12	(株)北谷組滝川江部乙事務所	滝川市
47	H28.4.28	岩田地崎・岩倉・丸竹・竹田特定建設工事共同企業体	札幌市中央区
48	H28.5.26	釧路がん検診センター	釧路市
49	H28.5.31	旭川がん検診センター	旭川市
50	H28.5.31	㈱ほくやく新川物流センター	札幌市北区
51	H28.6.1	富良野保健所	富良野市
52	H28.6.2	名寄保健所	名寄市
53	H28.6.2	江別保健所	江別市
54	H28.6.2	苫小牧保健所	苫小牧市
55	H28.6.2	静内保健所	新ひだか町
56	H28.6.3	深川保健所	深川市
57	H28.6.3	北見保健所	北見市
58	H28.6.6	根室保健所	根室市
59	H28.6.7	中標津保健所	中標津町
60	H28.6.8	滝川保健所	滝川市
61	H28.6.9	八雲保健所	八雲町
62	H28.9.5	紋別保健所	紋別市
小 計			62台
63	H27.6.18	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 1F	札幌市白石区
64	H27.6.18	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 1F	札幌市白石区
65	H27.10.27	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 東棟3F	札幌市白石区
66	H27.10.27	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 東棟3F	札幌市白石区
67	H28.3.26	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
68	H28.6.19	株式会社ほくやく	札幌市中央区
69	H28.6.19	竹山札幌業務センター	札幌市白石区
小 計			7台
70	H28.4.25	大川原脳神経外科病院	
71	H28.5.1	東陽上村アドバンス株式会社社長沼工場	長沼町
72	H28.5.1	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市中央区
73	H28.5.1	竹山札幌業務センター	札幌市白石区
74	H28.5.1	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市西区
75	H28.5.1	株式会社ほくやく北32条SPD	札幌市北区
76	H28.6.16	札幌医科大学付属病院 外来棟1F	札幌市中央区
小 計			7台
合 計			76台

常設募金箱設置状況（H28.9月末）

NO	区 分	病院名等	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市白石区
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
3	〃	JA札幌厚生病院	札幌市中央区
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市白石区
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	指定病院	函館中央病院	函館市
11	〃	札幌北楡病院	札幌市白石区
12	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市南区
13	〃	北海道医療センター	札幌市西区
14	〃	深川市立病院	深川市
15	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
16	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
17	〃	伊達赤十字病院	伊達市
18	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
19	〃	旭川赤十字病院	旭川市
20	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市手稲区
21	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
22	調剤薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
23	その他	北海道対がん協会札幌検診センター	札幌市東区
24	〃	〃 旭川検診センター	旭川市
25	〃	〃 釧路検診センター	釧路市
26	〃	厚岸町	厚岸町
27	〃	福島町	福島町

お問い合わせ

○（管理・運営）公益財団法人北海道対がん協会 Tel(011)-748-5511

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策グループ Tel(011)-204-5117

北海道のホームページ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄附ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄附などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄附金の税控除の手続きには領収書のみで対応できるようになりました。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」（年3回発行）等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

旭川がん検診センター 0166-53-7111

釧路がん検診センター 0154-37-3370

日本人のためのがん予防法

～現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法～

喫煙	タバコを吸わない。他人のタバコの煙をできるだけ避ける。
飲酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食事	食事は偏らずバランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 *野菜や果物不足にならない。 *飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に。
体形	適正な範囲に。
感染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。機会があればピロリ菌検査を。

国立がん研究センターがん対策情報センター
「日本人のためのがん予防法」より抜粋